

# 入門編

## 目次

<b>1 A's (エース) の起動</b>	<b>3</b>
はじめに.....	3
A's (エース) グループ.....	3
物件管理.....	4
新規顧客登録.....	4
プラン登録.....	4
物件概要.....	5
建具部材指定.....	5
プラン図の起動.....	6
グリッド設定.....	6
プラン図の初期画面.....	6
クイックメニュー.....	7
メインメニュー.....	7
<b>2 プラン図</b>	<b>8</b>
作成するプラン図.....	8
壁.....	9
アンドゥ・リドゥ.....	10
部屋.....	11
主区画.....	11
水廻り.....	12
収納.....	12
その他.....	13
壁の調整.....	14
全開口.....	14
外部下り壁.....	14
建具.....	15
建具自動配置.....	15
建具の移動.....	16
建具の追加.....	17
建具の高さ・詳細情報設定.....	17
建具の削除.....	18
出窓.....	18
内観部品.....	19
3D 部品-テーブルセット.....	20
階段.....	21
リアルタイム連動.....	22
付属品.....	23
ポーチ.....	23
テラス.....	24
換気扇.....	24
庇.....	25
寸法線.....	26
2階プラン.....	27
階層変更.....	27
壁.....	27
部屋.....	28
建具.....	29
内観部品.....	30
バルコニー.....	31
寸法線.....	32
画像出力.....	33
1階の画像出力.....	33
画像登録.....	33
2階の画像出力.....	34

<b>3 屋根伏図</b>	<b>35</b>
屋根伏図の起動.....	35
屋根自動配置.....	36
ウィンドウの操作.....	36
屋根面、出寸法の設定.....	36
切妻指定.....	37
自動作成.....	37
<b>4 3D パース</b>	<b>38</b>
3D パースの起動.....	38
視点プロパティ.....	38
オート外構.....	39
リアルシェーディング.....	41
視点設定・登録.....	41
ファイナルギャザー.....	42
レンダリング画像の登録.....	43
レンダリング画像の印刷.....	43
レンダリングの終了.....	43
内観パース.....	44
視点設定.....	44
アプリケーションの終了.....	45
データの保存・終了.....	45

# 1 A's (エース) の起動

## はじめに

本書は、A's (エース) を初めてお使いになる方のための、入門編マニュアルです。シンプルな操作で、スピーディーにパース (外観・内観) を作成することを目標として、機能を厳選して説明しています。また、操作方法習得が目的のため、一般的でない表現もあります。あらかじめご了承ください。

### 作成する外観パース



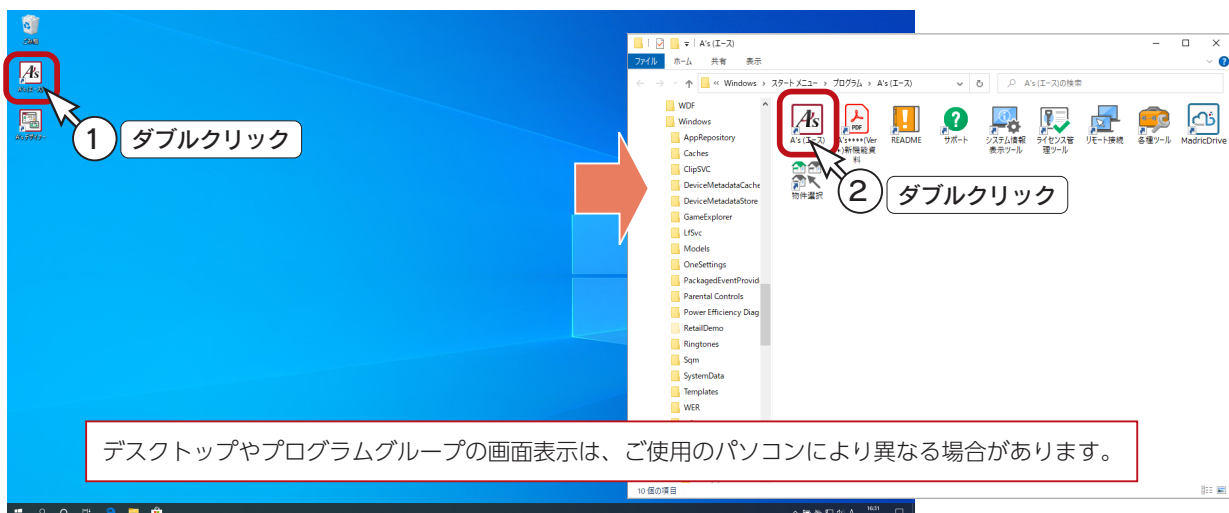
## A's (エース) グループ

①デスクトップの **A's** (A's (エース)) をダブルクリック

\* 「A's (エース)」グループの画面が表示されます。

②グループ内の **A's** (A's (エース)) をダブルクリック

\* 物件管理の画面が表示されます。



# 物件管理

## 新規顧客登録

①物件管理画面にて

**新規顧客**

をクリック

\* 顧客情報入力画面が表示されます。

②顧客情報を入力

\* 例えば、顧客名に「田中 三郎」と入力します。

\* その他はここでは省略しますが、必要に応じて入力してください。

③「保存」をクリック

\* 物件管理の画面に戻ります。

入力した顧客情報が、顧客ビューに表示されます。

## プラン登録

①追加した顧客（田中 三郎）を選択

②

**新規プラン**

をクリック

\* プラン登録の画面が表示されます。

③プラン名を入力

\* 例えば「入門編」と入力します。

\* プラン名以外は省略しますが、必要に応じて入力してください。

④「A'sを起動する」をクリック

⑤「建具部材指定配置」についてメッセージが表示された場合は、内容をご確認の上「OK」をクリック

\* 物件概要の画面が表示されます。

「建具部材指定配置」について

A's2021から各メーカーの建具を配置する「建具部材指定」の機能が搭載されました。  
物件概要の3/4ページの建物仕様で「建具部材指定」のチェックをONにする事でメーカー名、シリーズ名を選択して建具を配置できます。  
「建具部材指定」のチェックをOFFにすると、A's3.00までの建具入力方法を継続できます。  
建具部材指定をお使いになる場合、A's3.00までの建具入力方法で配置した建具とは異なる取扱となります。詳細についてはヘルプをご参照ください。

今後、このメッセージを表示しない。

**OK**

ヘルプ

## 物件概要

物件概要では施主名や担当者、高さ情報の初期値等の情報を設定します。

- ① 「施主名」を確認  
\* 物件管理から物件概要に進むと、「施主名」には顧客名が自動入力されます。
- ② 「建物階数：地上2階」「建物タイプ：木造一般仕様」に設定  
\* その他の設定はここでは省略しますが、必要に応じて入力してください。
- ③ 「リフォーム機能を有効にする」は、であることを確認  
\* チェックが入っている場合は、外してください。

### 物件概要の反映


物件概要には、基本情報、会社情報、計画概要、建物仕様、建物高さの5画面が用意されています。ここで入力したデータは、確認申請書や各種図面に反映されます。会社情報以外は、画面左下のボタン、または○のクリックにより切り替えが可能です。

### リフォーム機能

「リフォーム機能を有効にする」にチェックを入れると、1つの物件で「既存図」と「計画図」という形で2つのプランデータを管理することができます。

### 目標基準

長期優良住宅基準、フラット35、確認申請基準など、目標とする基準をあらかじめ設定することで、基準達成に向けた設計が可能となります。

項目によっては、 (目標基準ナビゲーションツール) で自動判定し、該当するプログラムに連携することもできます。

## 建具部材指定

物件概要の3/4 ページ目「建物仕様」パネルに、「建具部材指定」があります。

建具仕様をあらかじめ指定することにより、プランニングの際に決められた建具リストから選択して入力できます。

- ① 物件概要画面下のボタン、または○をクリックして、「建物仕様」パネルを表示
- ② 「建具部材指定」がであることを確認  
\* チェックが入っていない場合は、入れてください。
- ③ 「OK」をクリック  
\* しばらくして、メインメニューとプラン図の画面が表示されます。

## プラン図の起動

新規作成の物件では、物件概要設定後、プラン図の画面が表示され、グリッド設定に関するメッセージが表示されます。

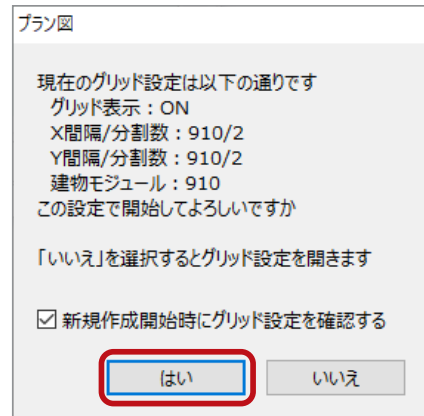
### グリッド設定

初期設定（表示:ON、XYともに間隔/分割数:910/2、建物モジュール:910）でよい場合は、「はい」をクリックします。設定を変更する場合は、「いいえ」をクリックすると、グリッド設定のダイアログが表示されます。





ここでは、「はい」をクリックしてください。  
作図中、グリッド設定は画面右下に表示され、いつでも確認、変更が可能です。

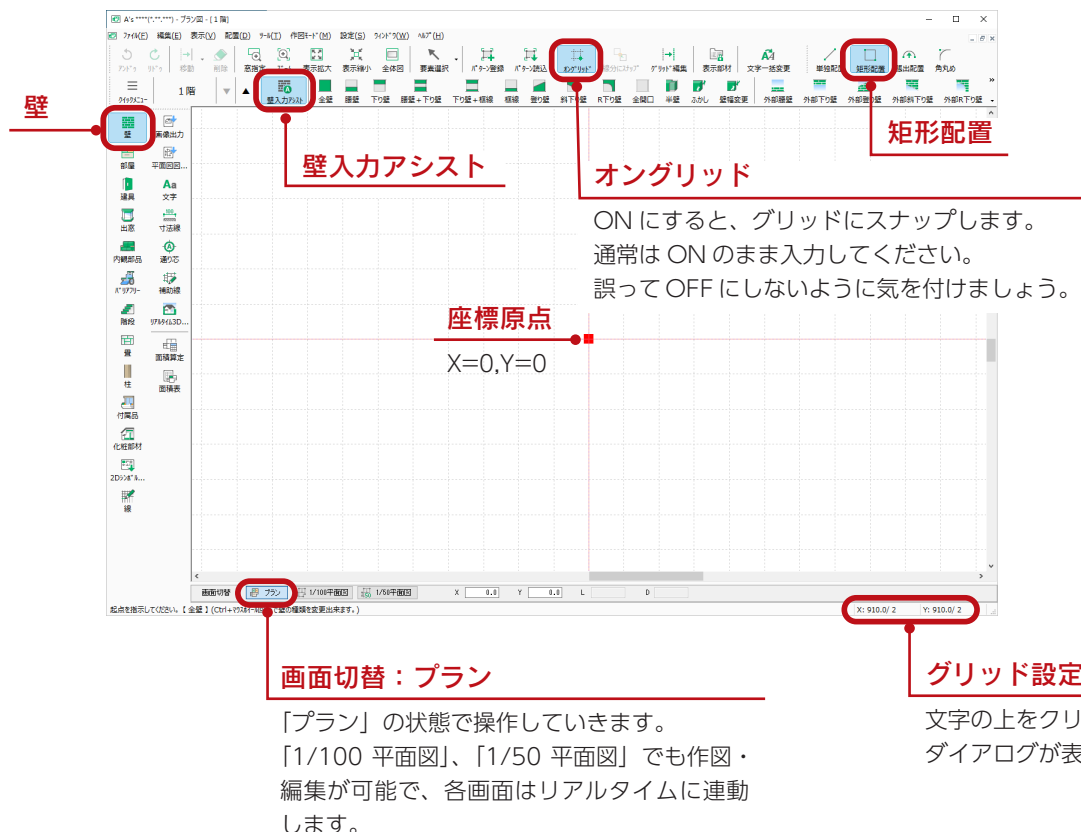
#### 間隔・分割数の組み合わせについて

グリッド設定で割り切れない組み合わせを指定した場合は、割り切れる組み合わせにされることをお勧めするメッセージが表示されます。



### プラン図の初期画面


プラン図の画面は、初期はツールバーの  (壁) が押されており、 (壁入力アシスト) で、 (矩形配置) が選択されています。 (オングリッド) も押し下げられています。また、画面切替は「プラン」の状態です。



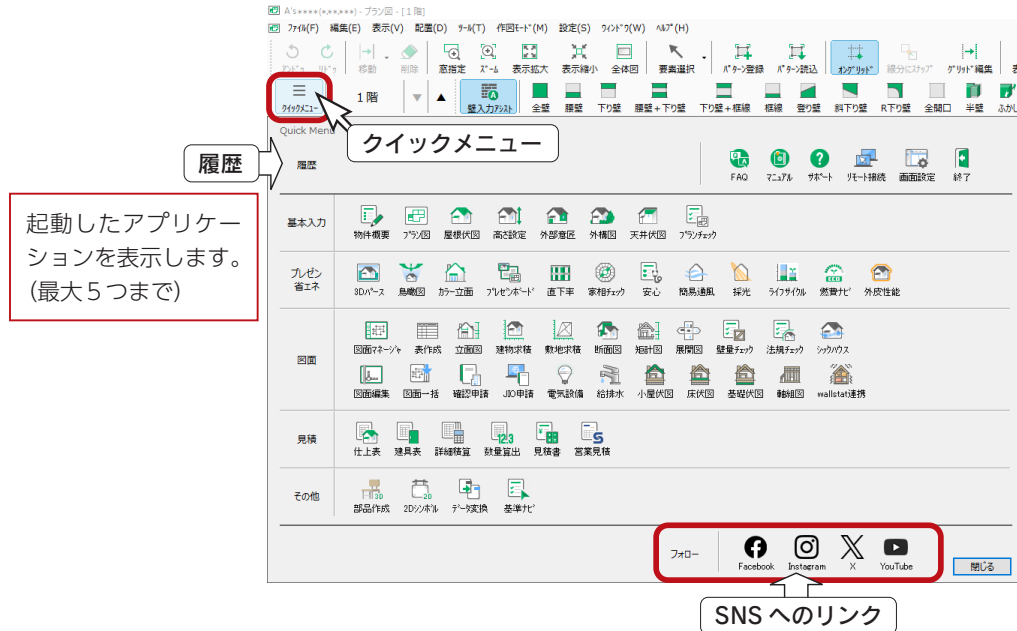
## クイックメニュー

本システムは、複数のアプリケーションで構成されています。

そこで、各アプリケーションを起動するための窓口として、クイックメニューと呼ばれる起動ツールを用意しました。

プラン図等の画面で、 (クイックメニュー) をクリックすると、全アプリケーションのアイコンが表示されます。

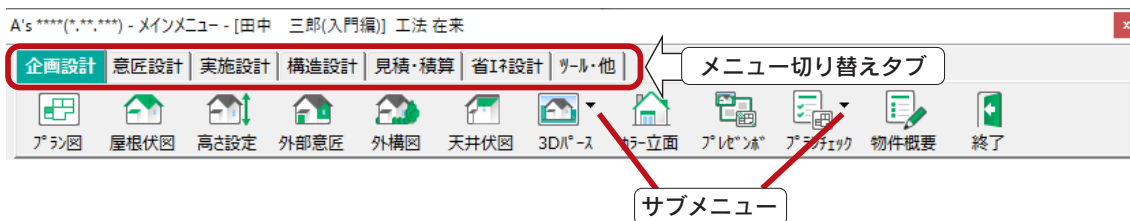
アイコンをクリックすると、該当のアプリケーションが起動します。



## メインメニュー

クイックメニュー以外に、メインメニューから各アプリケーションを起動することもできます。

メインメニューのアイコンをクリックすると、該当のアプリケーションが起動します。





\*  は、サブメニューがあることを示しています。

\* メインメニューは、お使いのシステム構成によって異なります。

### 次回起動時の動作設定

メインメニューの右クリックメニューの「動作設定」では、次回起動時の動作を設定できます。新規物件起動時、既存物件起動時について、それぞれ「プラン図を起動する」「外構図を起動する」「メインメニューのみ起動する」のいずれかに設定できます。

### お試し版について

アイコンに  が表示されているものは、お使いのシステム構成に含まれていないアプリケーションです。Web ライセンス認証でご利用いただいている場合に、14日間お試しいただけます。なお、お使いいただけるアプリケーションのみを表示する場合は、クイックメニュー、またはメインメニュー「ツール・他」タブの  (画面設定) にて、設定を変更できます。

# 2

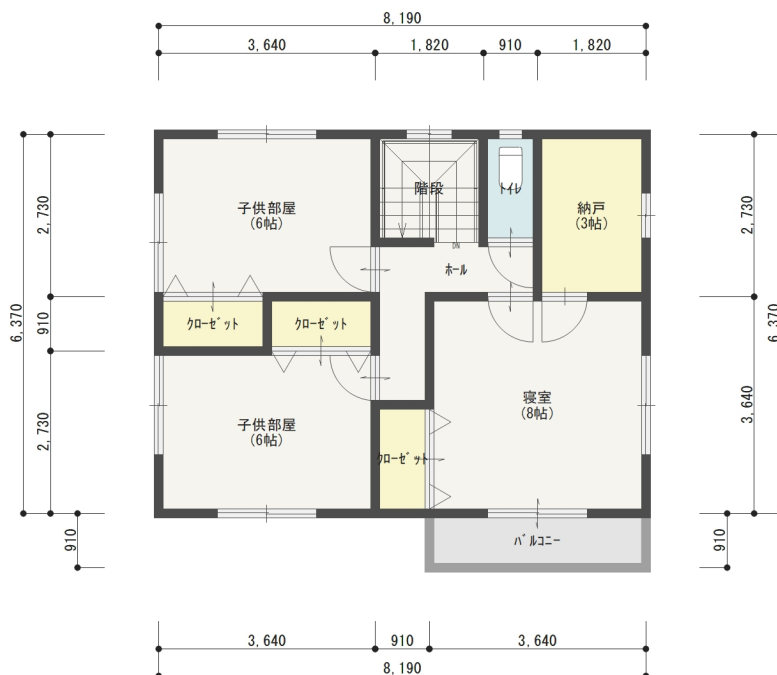
# プラン図

## 作成するプラン図

### ■ 1階







### ■ 2階






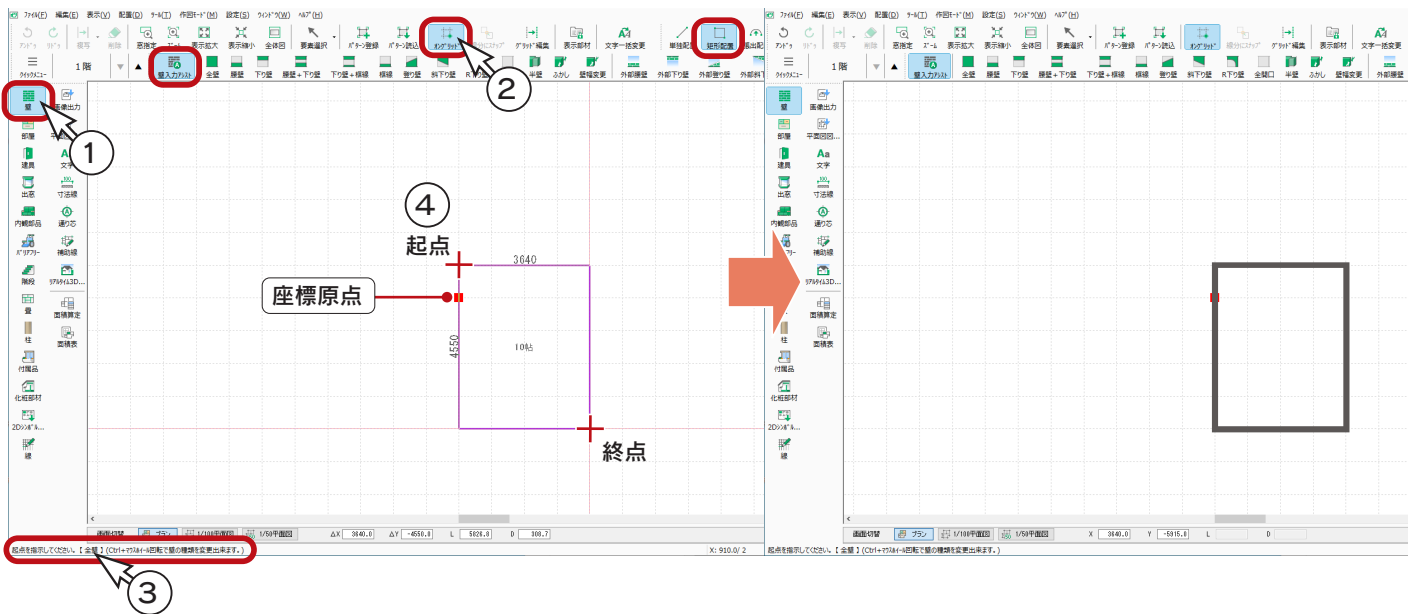
# 壁

壁入力アシストを使用して、壁を入力しましょう。  
建具部分や開口部分は気にせず、入力していきます。

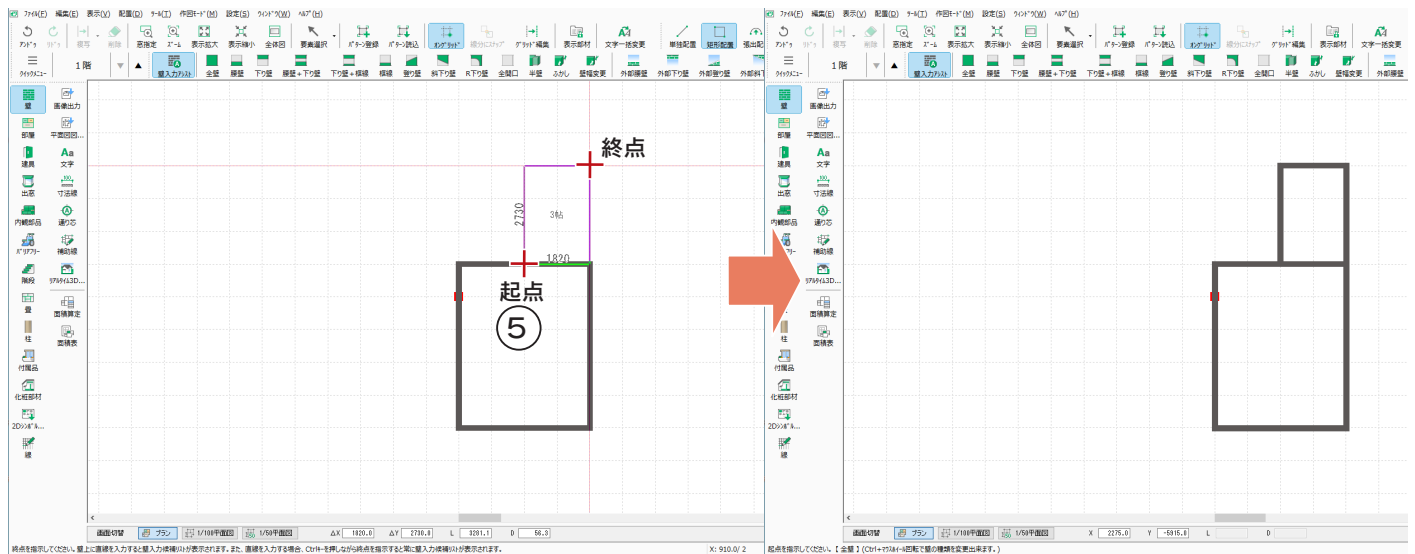
- ①  (壁) ⇒  (壁入力アシスト) ⇒  (矩形配置)を確認
- ②  (オングリッド) が押し下げられていることを確認
- ③ ステータスバーに【全壁】の表記があることを確認  
\*異なる場合は [Ctrl] + マウスホイールで変更できます。
- ④ 下図のように、起点-終点を指示  
\* 4550 × 3640 (10 帖) の区画を取ります。  
\* 作図位置は座標原点 (赤色の■) を参考にしてください。

ここで説明する入力方法は一例です。  
他の入力方法もあります。

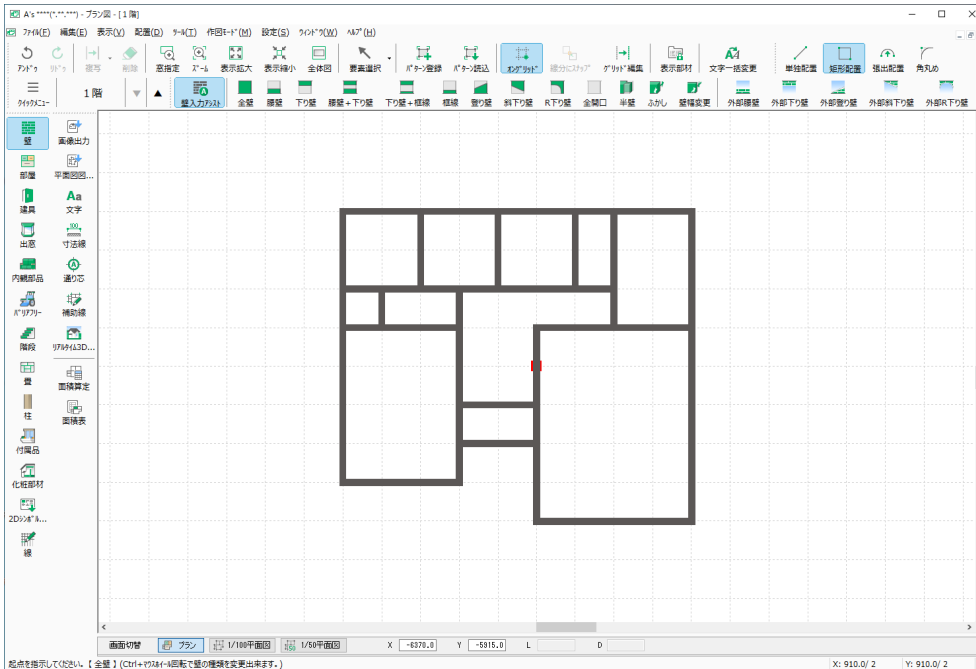
必ず  (オングリッド) が押し下げられた状態で入力します。



- ⑤ 続けて、下図のように起点-終点を指示  
\* 壁は重ねて入力してもかまいません。



⑥続けて、以下のように、全壁を矩形配置



## アンドウ・リドゥ



(アンドウ) ……ウィンドウを開いてから行った作業内容を、逆順に取り消すことができます。  
\*入力中のポイントミスは、アンドウではなく、右クリックで戻ります。



(リドゥ) ……アンドウの逆です。主にアンドウしすぎた場合に使用します。

アンドウで消えないものは？



(要素選択) でクリック後、 (削除) をクリックしてください。

[Delete] キーを押す、または右クリックメニュー、編集メニューの「削除」を選択してもかまいません。

アンドウ・リドゥ

削除

要素選択



# 部屋


「全壁」で間取りを入力後、部屋設定を行います。


部屋設定は、部屋名を示す文字を入力すると同時に、床・天井面の生成、建具の面材・高さ判定の基準となります。

## 主区画

- ① ツールバーの  (部屋) をクリック

\* ショートカットキーは [R] です。(日本語入力 OFF で有効)

- ②  (部屋) を確認

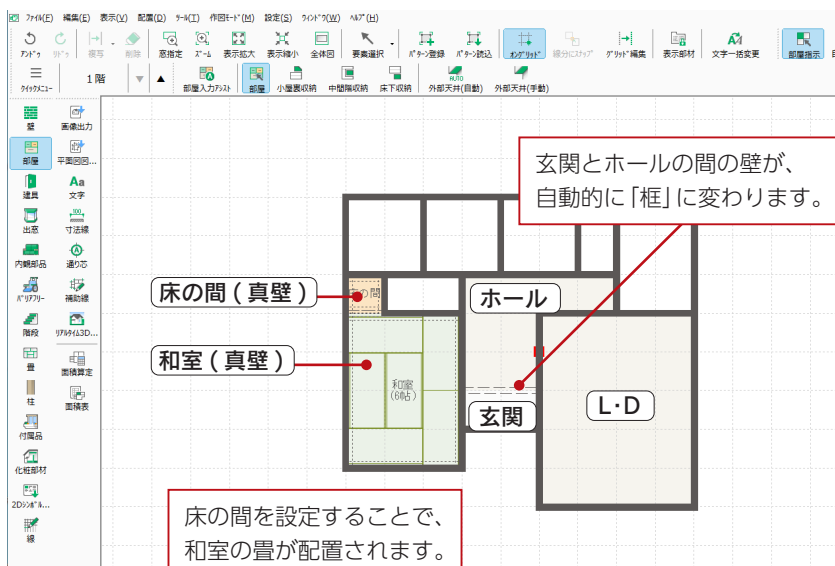
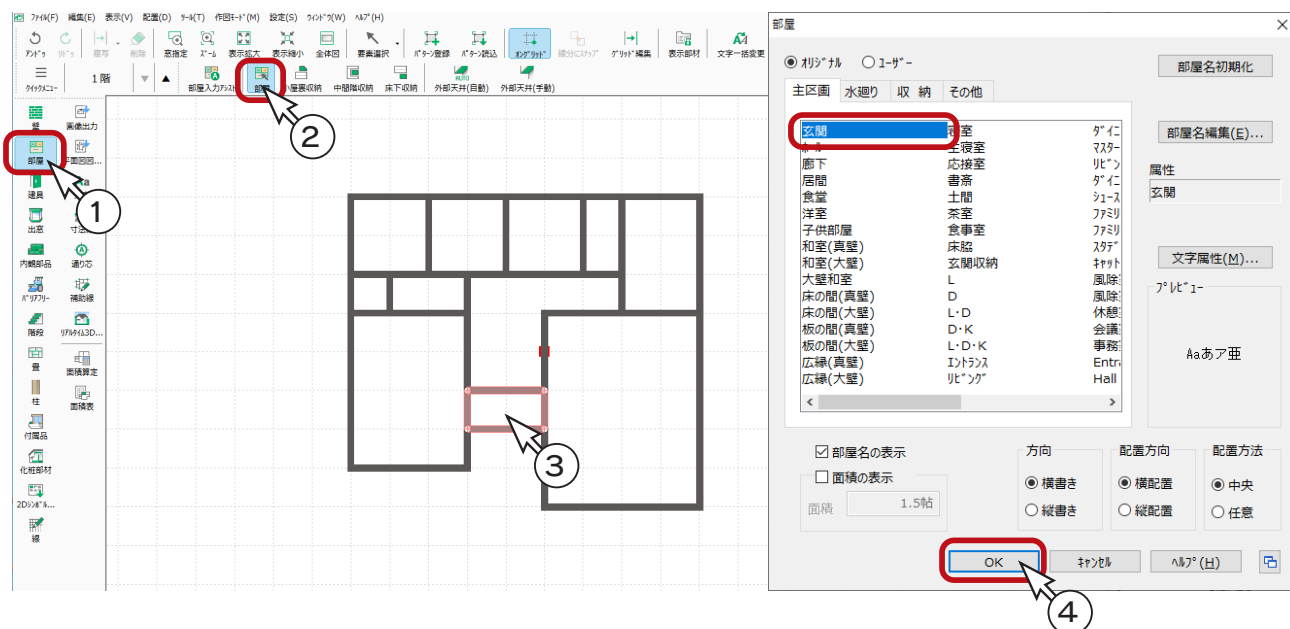
\* 部屋入力アシストのダイアログが表示された場合は、「閉じる」をクリックしてから、 (部屋) をクリックしてください。

- ③ 玄関にする部屋の中をクリック

\* 部屋のダイアログが表示されます。

- ④ 「玄関」をクリックし、「OK」をクリック

\* 「玄関」をダブルクリックしてもかまいません。玄関が設定されます。



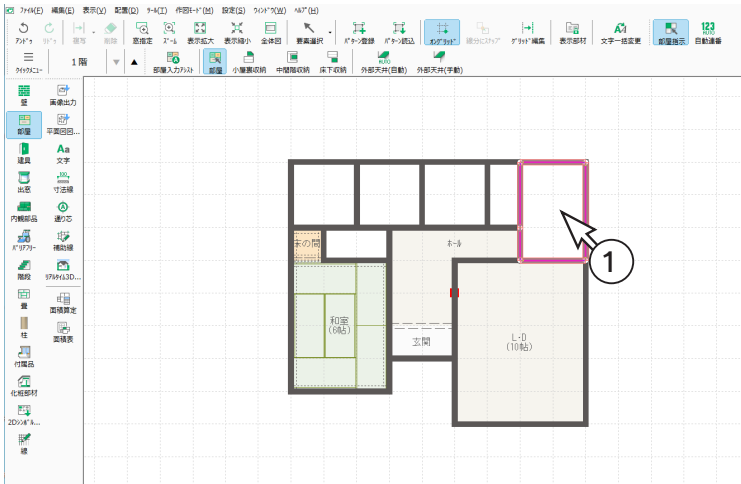
- ⑤ 続けて、他の主区画の部屋を設定

\* 主区画は他に、ホール、L・D、和室 (真壁)、床の間 (真壁) を設定します。

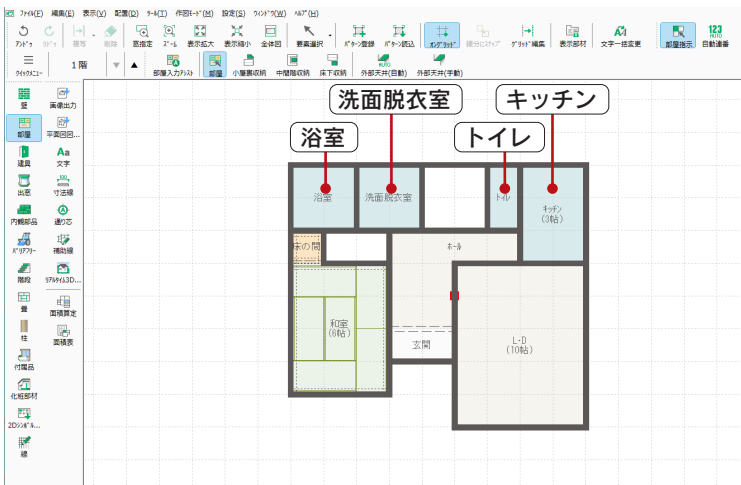
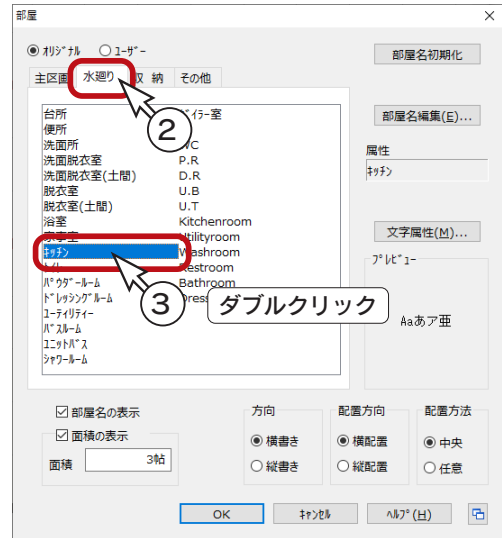
### 部材自動認識配置

部屋設定により、部屋と部屋との壁を自動認識して、枠や下り壁などの部材を配置 (変更) します。

## 水廻り



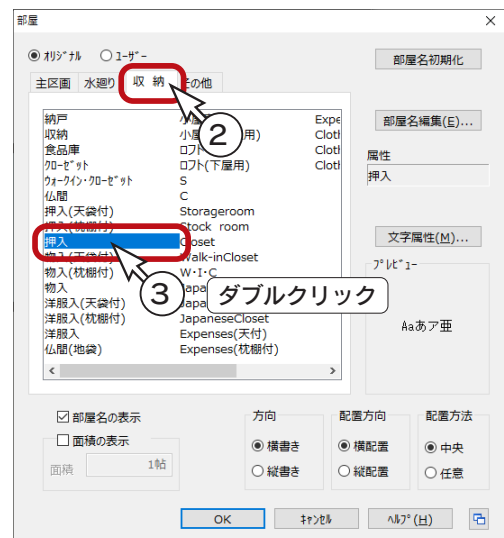
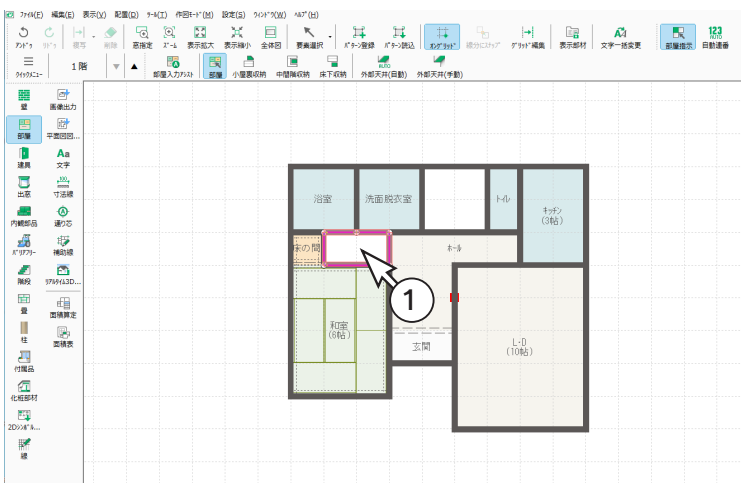
- ①キッチンにする部屋の中をクリック  
\* 部屋のダイアログが表示されます。
- ②「水廻り」をクリック  
\* 水廻りの部屋名一覧が表示されます。
- ③「キッチン」をダブルクリック  
\* キッチンが設定されます。



- ④続けて、他の水廻りの部屋を設定  
\* 水廻りは他に、洗面脱衣室、浴室、トイレを設定します。

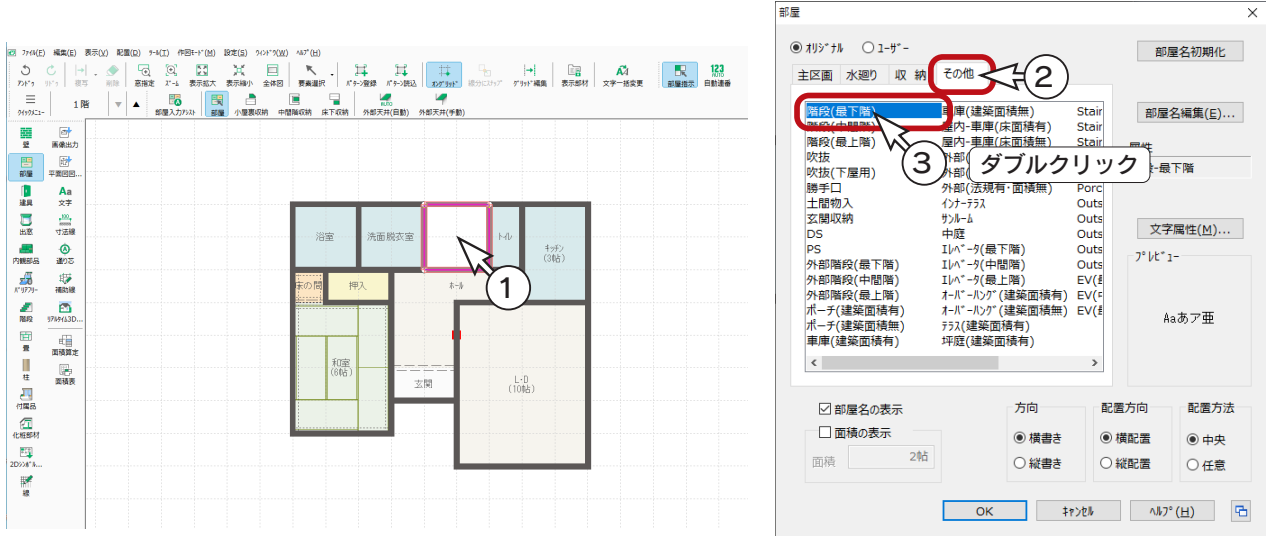
## 収納

- ①物入にする部屋の中をクリック
- ②部屋のダイアログが表示されるので、「収納」タブをクリック
- ③「押入」をダブルクリック

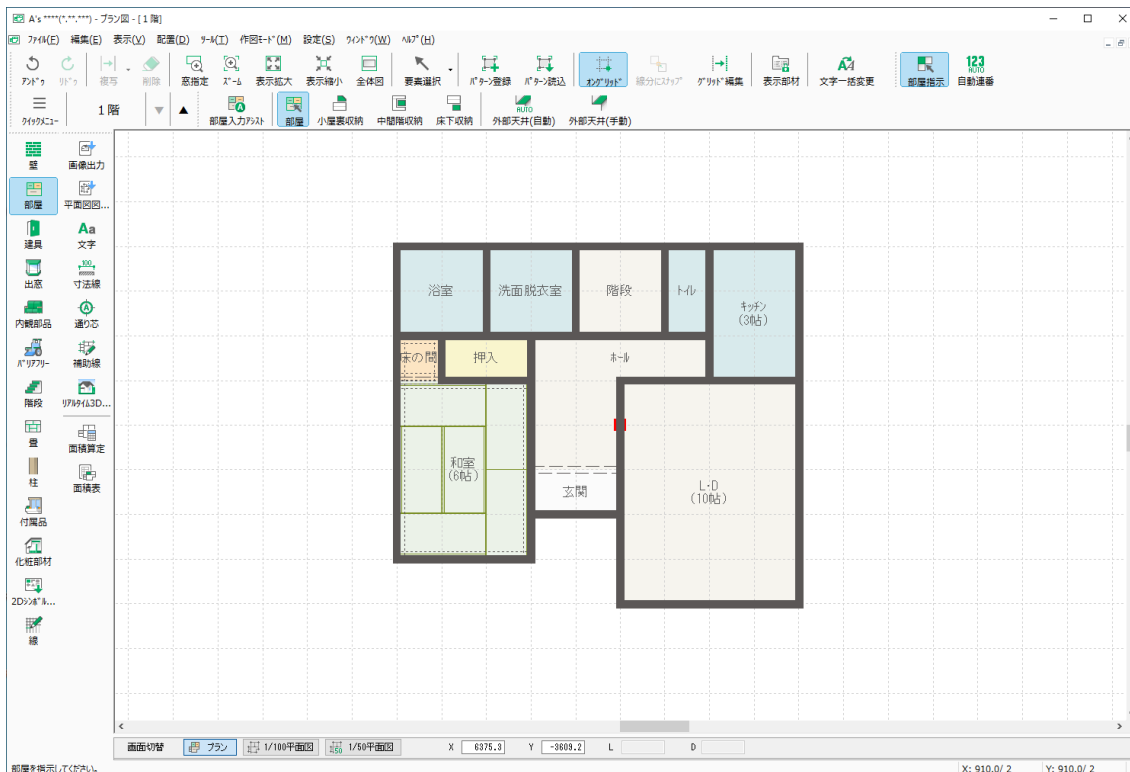


## その他

- ①階段にする部屋の中をクリック
- ②部屋のダイアログが表示されるので、「その他」タブをクリック
- ③「階段(最下階)」をダブルクリック



以上で、部屋設定は完了です。





### 部屋名の ( )

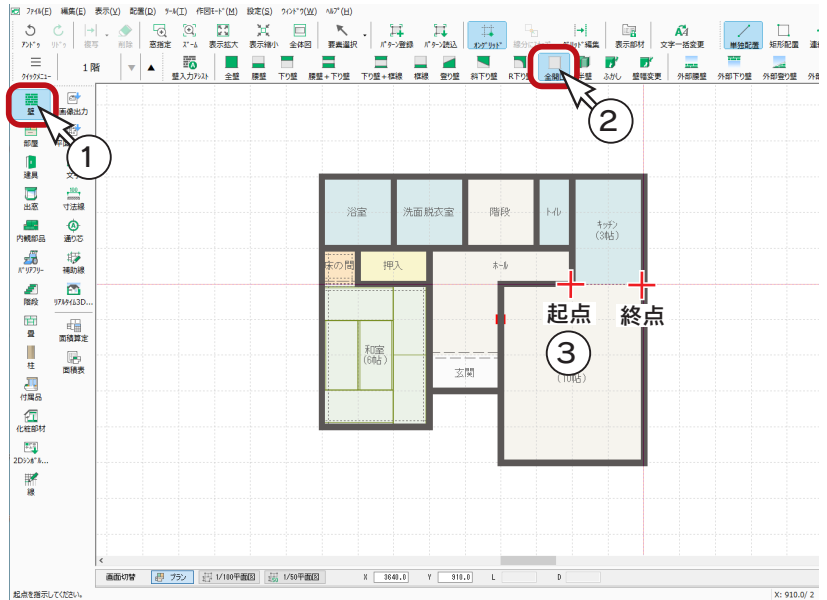
部屋名に半角の「(」が付いている場合は、「(」以降は画面に表示されません。  
例えば、「押入(天付)」は「押入」、「階段(最下階)」は「階段」と表示されます。

## 壁の調整


壁の移動や追加、種類変更は、部屋設定後でも自由にできます。

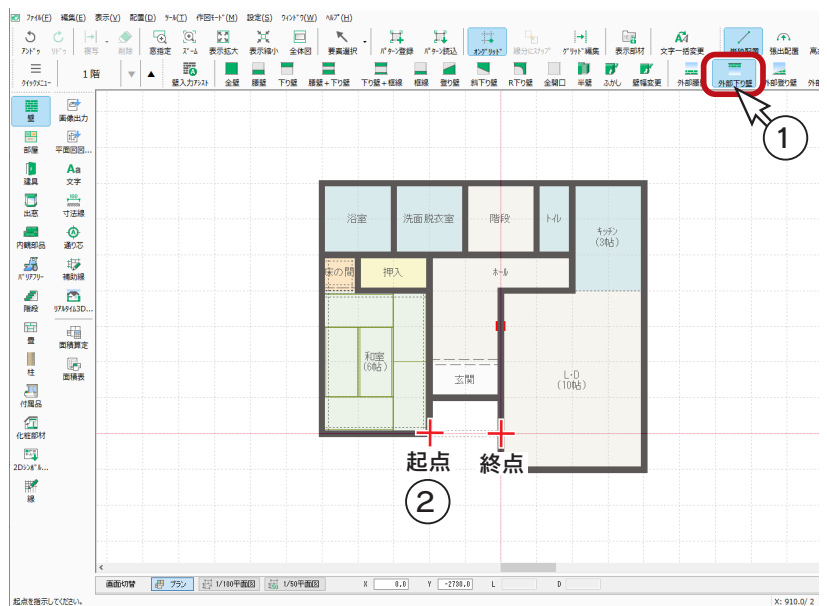
### 全開口

- ① ツールバーの  (壁) をクリック
- ②  (全開口) をクリック
- ③ 図のように、起点—終点を指示




### 外部下り壁

- ①  (外部下り壁) をクリック
- ② 図のように、起点—終点を指示






## 建具

建具を配置しましょう。

ツールバーの  (建具) をクリックすると、建具入力関連のアイコンが表示されます。





### 建具アイコンカスタマイズ

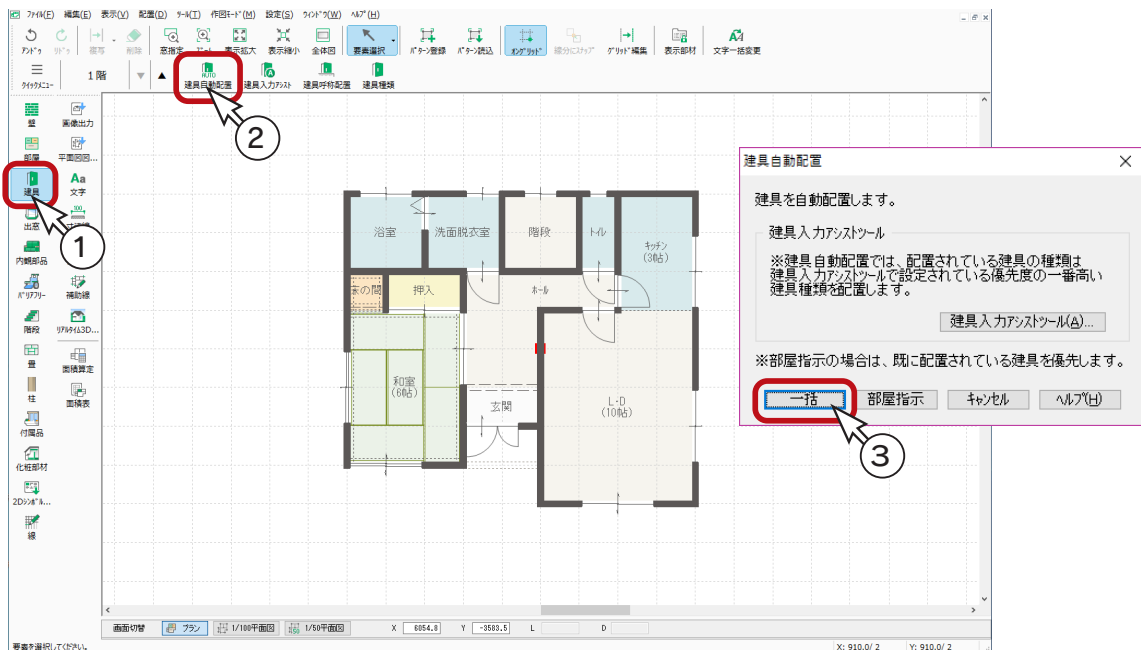
 (建具種類) をクリックすると、 (引違)、 (片引) など、建具種類を選択して配置することができます。

建具種類は多いので、「設定」⇒「建具設定」⇒「建具アイコンカスタマイズ」にて、各建具アイコンの表示 / 非表示を設定できるようになっています。

## 建具自動配置


ここでは、自動配置を実行し、配置状態を確認してから調整しましょう。

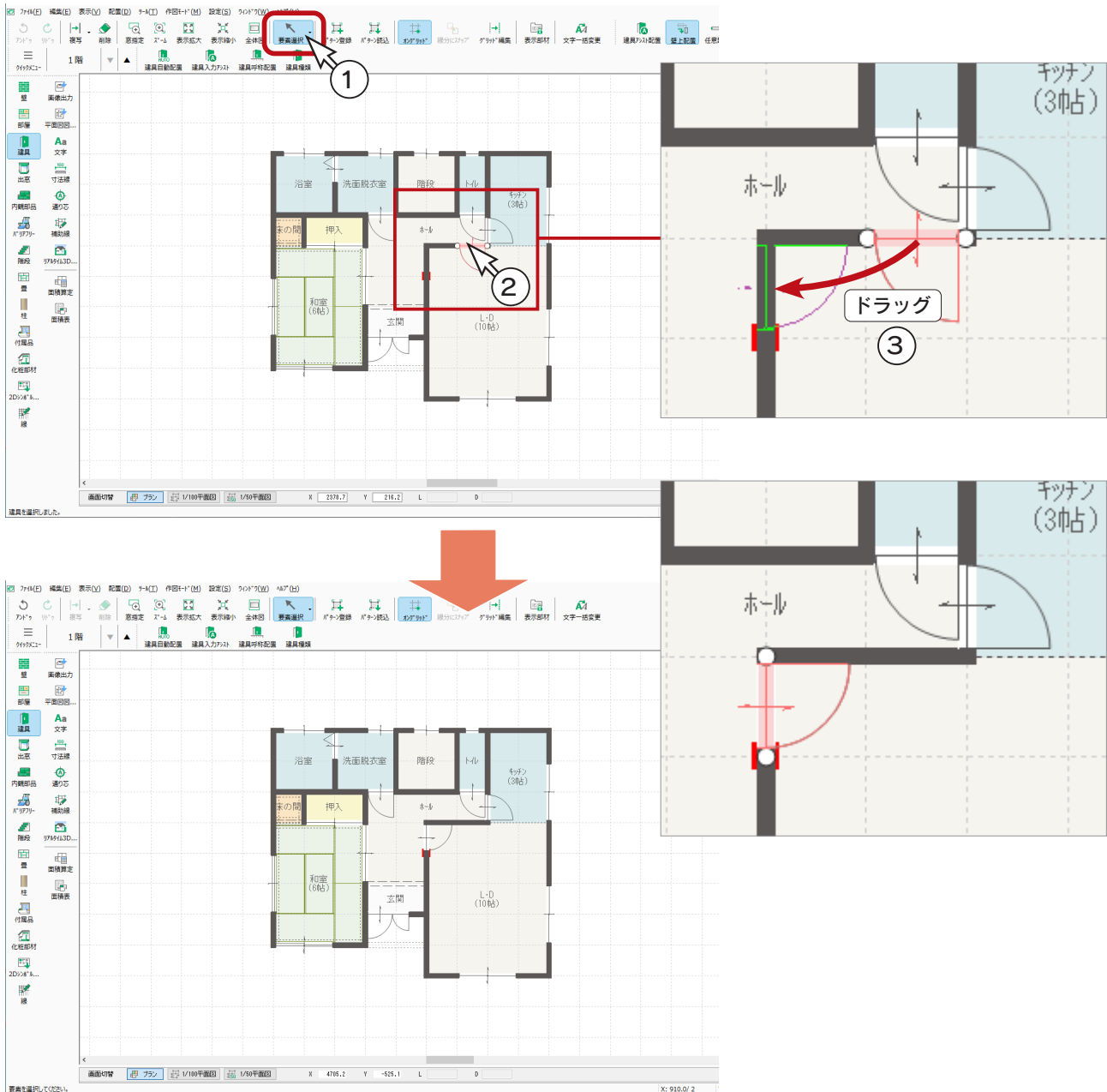
- ① ツールバーの  (建具) をクリック
- ②  (建具自動配置) をクリック
- ③ ダイアログが表示されるので、「一括」をクリック  
\* 建具自動配置が実行されます。



## 建具の移動

配置済みの建具を移動してみましょう。

- ①  (要素選択) をクリック
- ② 移動する建具 (ここでは、L・Dのドア) をクリック
- ③ 建具の端点以外をドラッグして移動




### 建具の端点ドラッグで幅変更

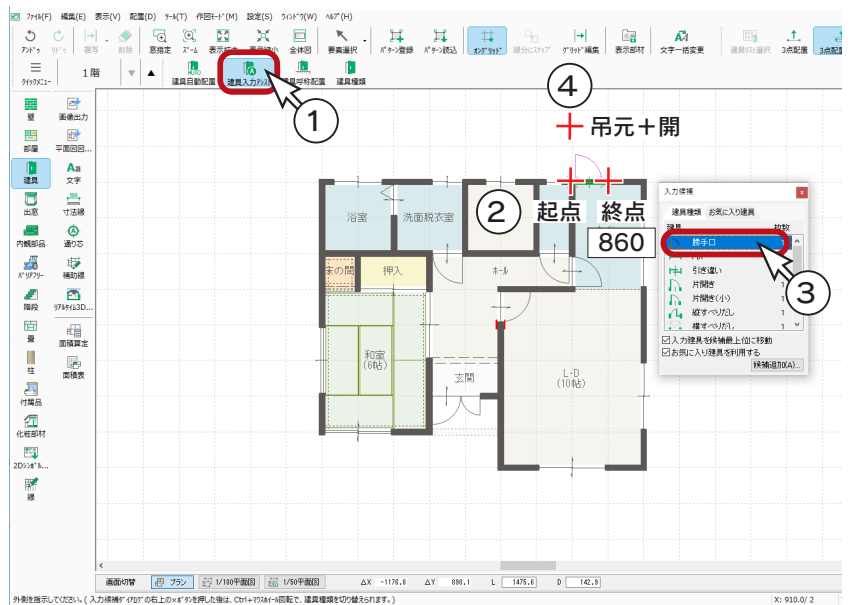
建具の端点をドラッグすると、幅を変更することができます。



## 建具の追加


建具を追加してみましょう。

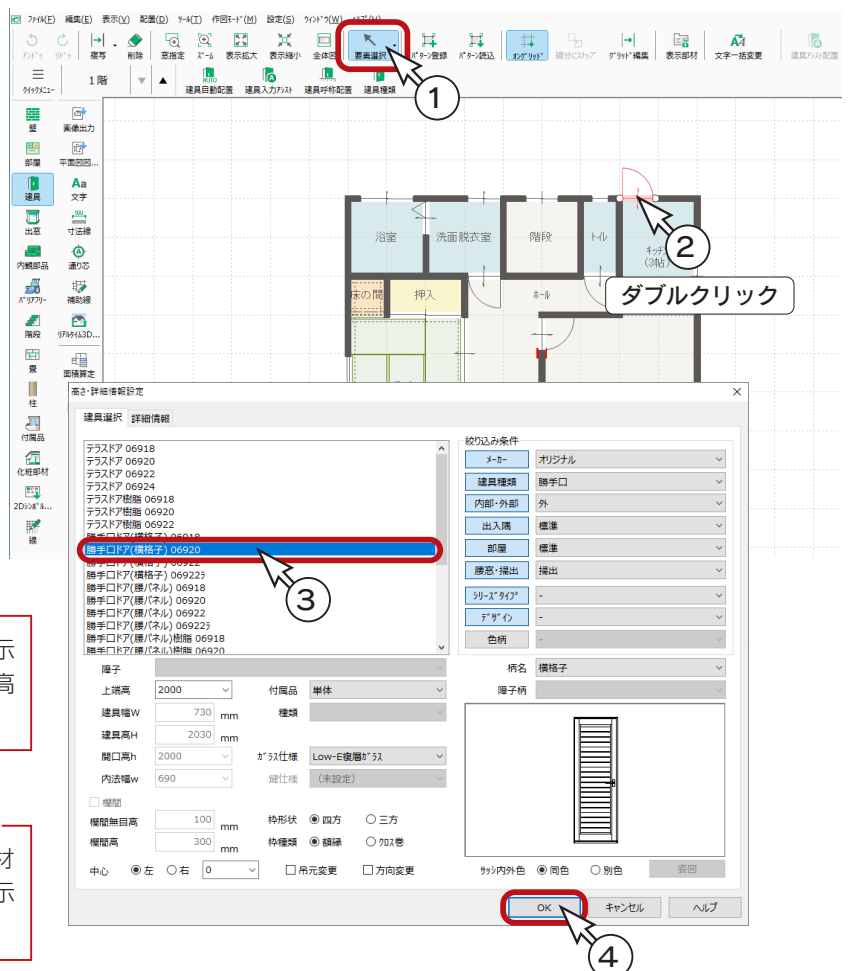
- ①  (建具入力アシスト) をクリック
- ② 図のように、起点-終点をクリック
  - \* 終点は入力幅「860」となる位置でクリックします。
  - なお、外部建具は内法幅も表示されます。
  - \* 入力候補が表示されます。
- ③ 「勝手口」を選択
- ④ 吊元側+開き方向でクリック



## 建具の高さ・詳細情報設定

建具の高さ・詳細情報を確認、変更してみましょう。

- ①  (要素選択) をクリック
- ② 配置済みの勝手口をダブルクリック
  - \* クリック後の右クリックメニューから、「高さ設定」を選択してもかまいません。
  - \* 高さ・詳細情報設定のダイアログが表示されます。
- ③ 建具設定を確認、変更
  - \* 例えば、「勝手口ドア(横格子) 06920」に変更します。
- ④ 「OK」をクリック



### 高さ・詳細情報設定



入力幅から建具が自動選択された状態で表示されます。建具呼称の選択による変更や、高さ関連の変更も可能です。

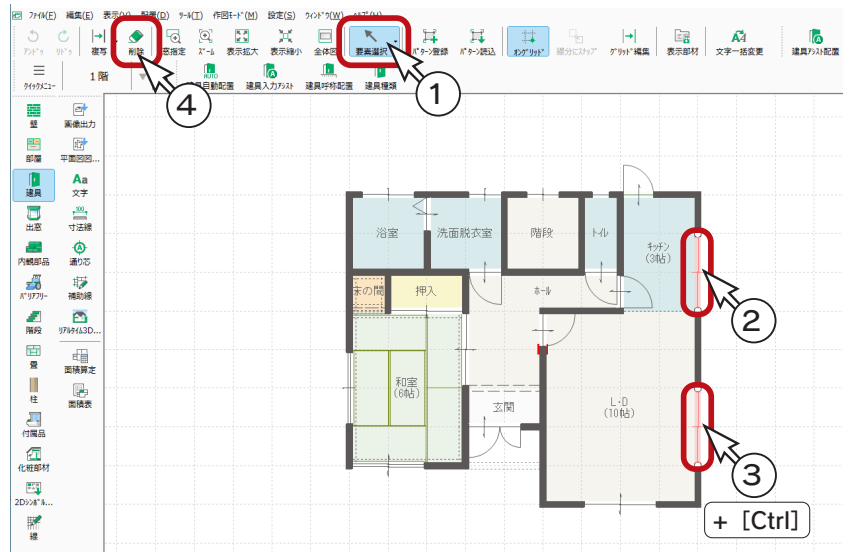
### 建具自動配置の高さ・詳細情報設定

建具自動配置で配置された建具は、建具部材指定 OFF で入力されるためダイアログ表示が異なります。

## 建具の削除

不要な建具は削除しましょう。

- ①  (要素選択)を確認
- ② 図のように、キッチンの建具を指示
- ③ [Ctrl] キーを押しながら、L・Dの建具を指示
- ④ 2つが選択状態になったら、 (削除)をクリック  
\* [Delete] キーを押してもかまいません。





### [Ctrl] キーで複数選択

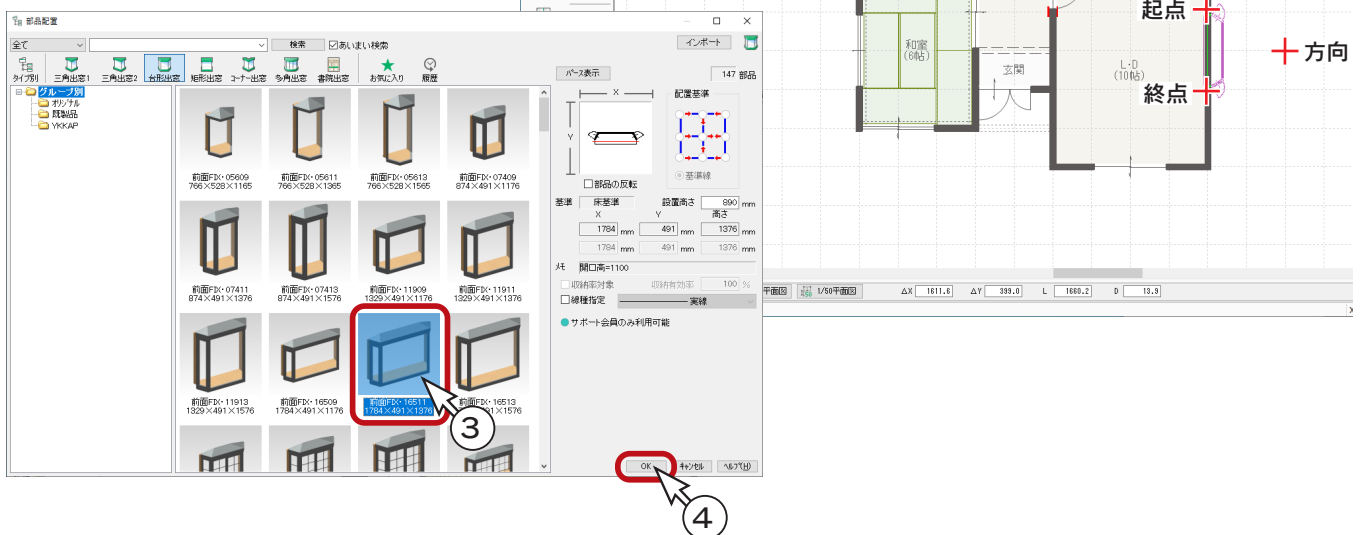
1つの要素を選択後、[Ctrl] キーを押しながら別の要素を選択すると、複数の要素を同時に編集対象にすることができます。

なお、選択済みの要素を [Ctrl] キーを押しながら指示すると、選択解除となります。

## 出窓



出窓を配置してみましょう。

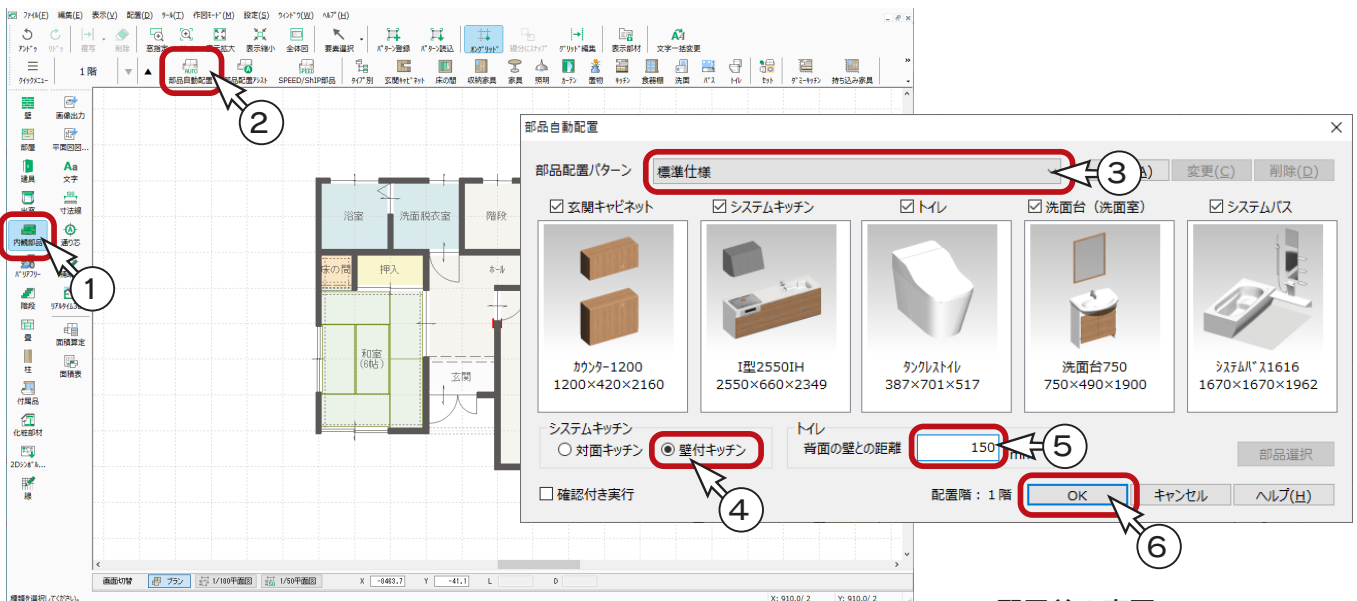
- ① ツールバーの  (出窓) をクリック
- ②  (台形出窓 (部品)) をクリック  
\* ダイアログが表示されます。
- ③ 「前面 FIX・16511」を選択
- ④ 「OK」をクリック
- ⑤ 図のように、起点-終点-方向を指示



# 内観部品

玄関キャビネットと設備部品を自動配置してみましょう。

- ①  (内観部品) をクリック
- ②  (部品自動配置) をクリック
  - \* 部品自動配置のダイアログが表示されます。
- ③ 「標準仕様」 に設定
  - \* すべての部品にチェックが入ります。
- ④ システムキッチン を「壁付キッチン」 に設定
- ⑤ トイレ背面の壁との距離を 150 mm に設定
- ⑥ 「OK」 をクリック
  - \* チェックの入っている部品が自動配置されます。



## 配置前の変更

部品自動配置のダイアログで、サムネイルをダブルクリックすると、自動配置する部品を変更することができます。

## 配置後の変更


配置後の部品を選択し、右クリックメニューの「再配置」を選択すると、部品の変更や配置条件の変更を行って、配置し直すことができます。

「変更を反映」にチェックを入れることにより、再配置せずにサイズ変更や部品差し替えが可能です。位置を変更しない場合に便利です。

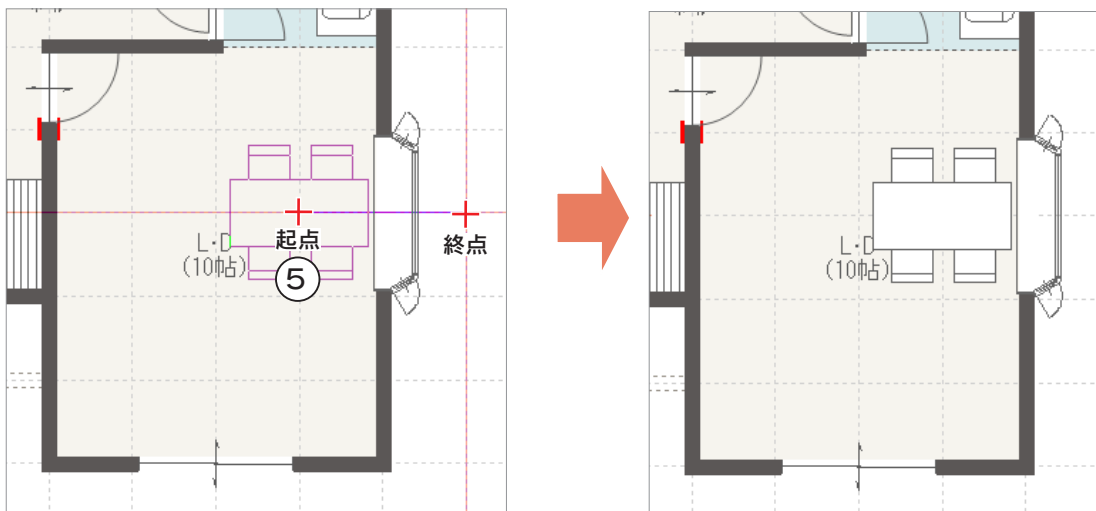
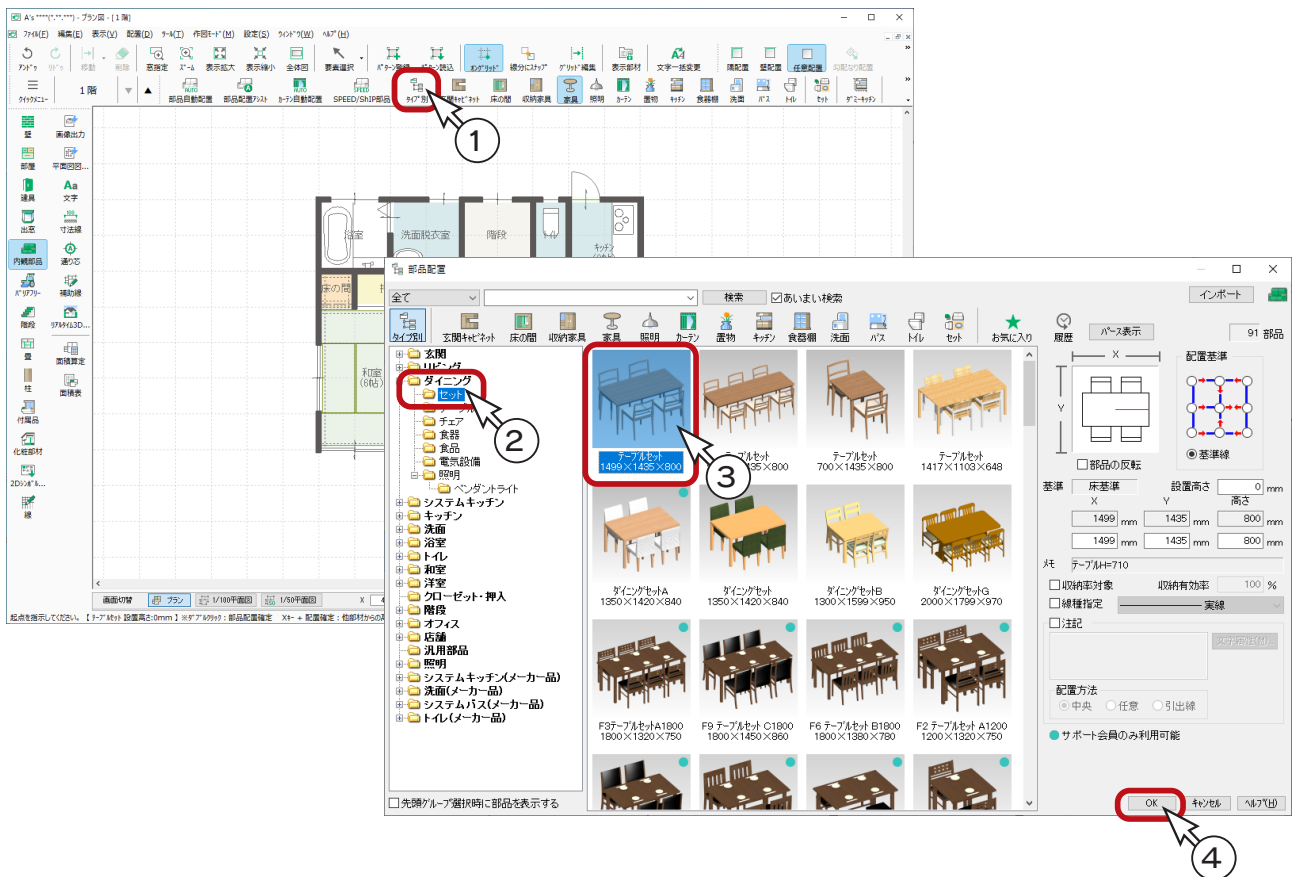
壁の入力により、システムキッチンの向きが異なる場合があります。

## 3D 部品－テーブルセット

自動配置の部品以外にも、多種多様な部品が用意されています。  
テーブルセットを配置してみましょう。

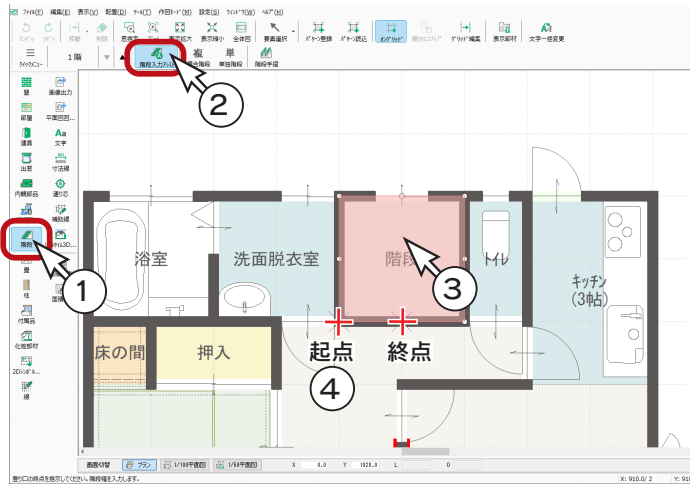
- ①  (タイプ別) をクリック
- ② 左のツリーから「ダイニング」⇒「セット」をクリック
- ③ 4人用の「テーブルセット」をクリック
- ④ 「OK」をクリック
- ⑤ 図のように、起点－終点を指示

\* テーブルセットが配置されます。

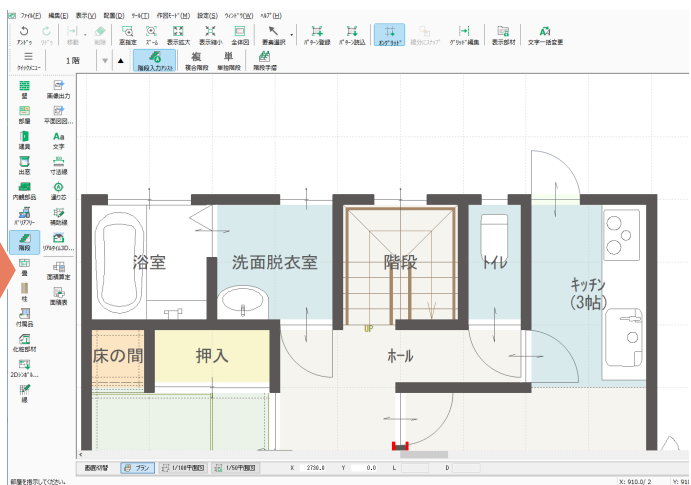
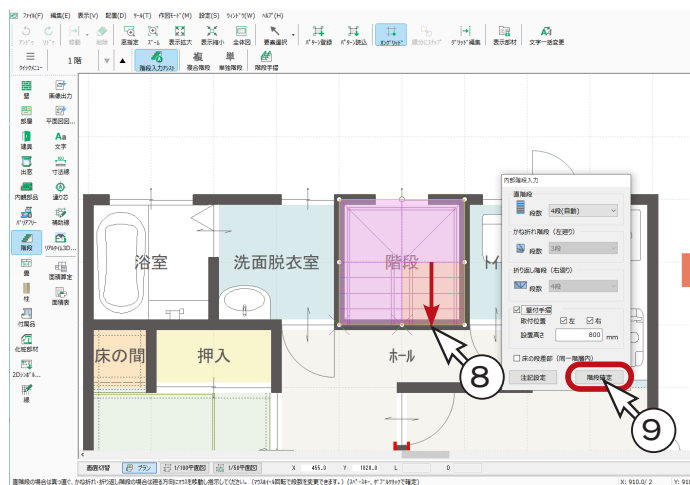
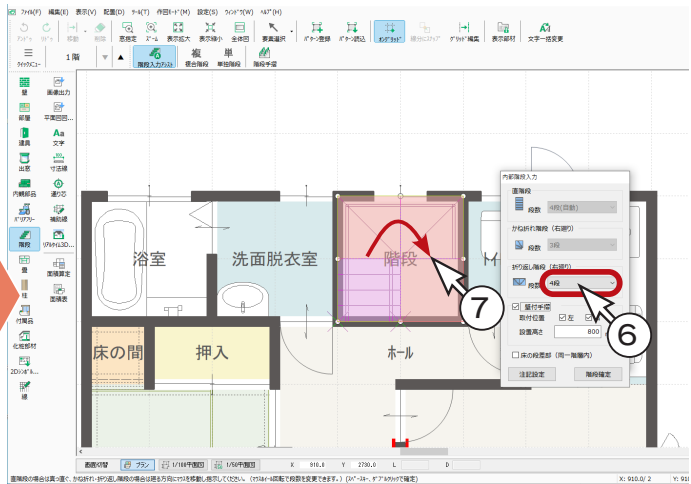
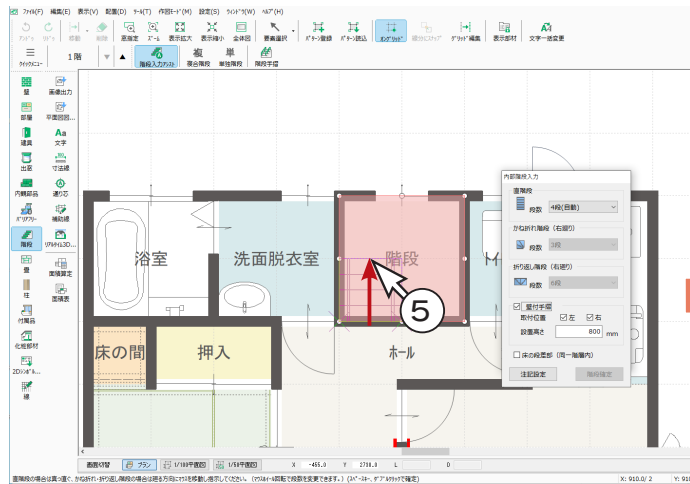


# 階段

階段を配置してみましょう。  
実際に階段を登るイメージで入力することができます。

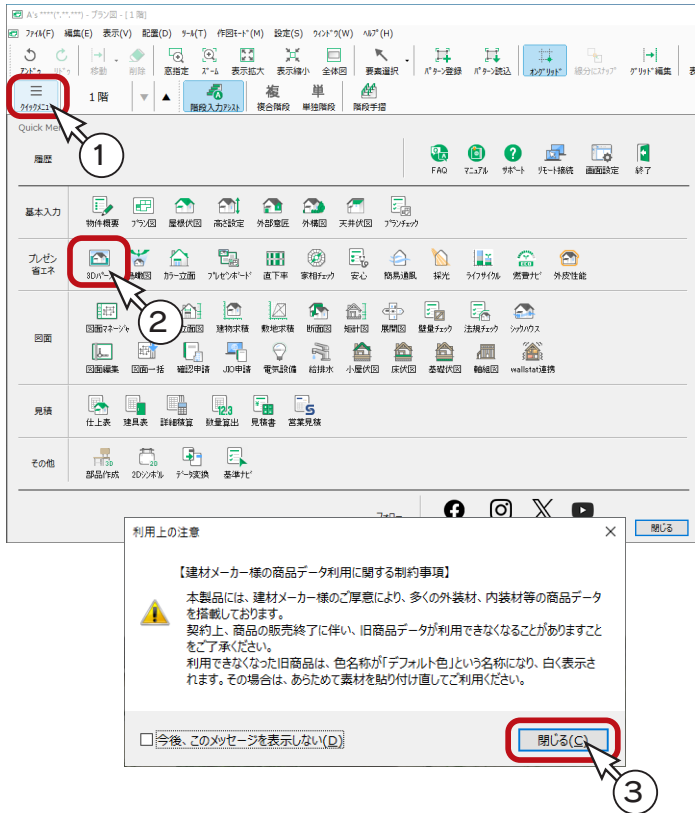


- ① (階段) をクリック
- ② (階段入力アシスト) を確認
- ③ 階段の部屋の中をクリック
- ④ 登り口を起点-終点で指示  
\*ダイアログが表示されます。
- ⑤ 登り口から直階段の4段目の位置をクリック
- ⑥ 折り返し階段の段数を4段に設定
- ⑦ 図の位置をクリック
- ⑧ さらに、直階段を4段登ってクリック
- ⑨ 「階段確定」をクリック  
\*階段が配置されます。



## リアルタイム連動

本システムの2次元と3次元のアプリケーションはリアルタイム連動しており、3次元で確認しながら2次元を入力したり、3次元上で編集して2次元に反映させたりすることも可能です。付属品入力の前に、「3D パース」も起動してみましょう。



① (クイックメニュー) をクリック

② (3D パース) をクリック

③ 利用上の注意が表示されるので、内容を確認の上、「閉じる」をクリック

\* 「今後、このメッセージを表示しない」のチェックが可能です。

\* 3D パースの画面が表示されます。

デスクトップに2つのアプリケーションが並ぶようにそれぞれの画面サイズを調整してください。以下の表示では、3D パースも表示調整しています。プラン図は、全体図の表示にします。





## 付属品

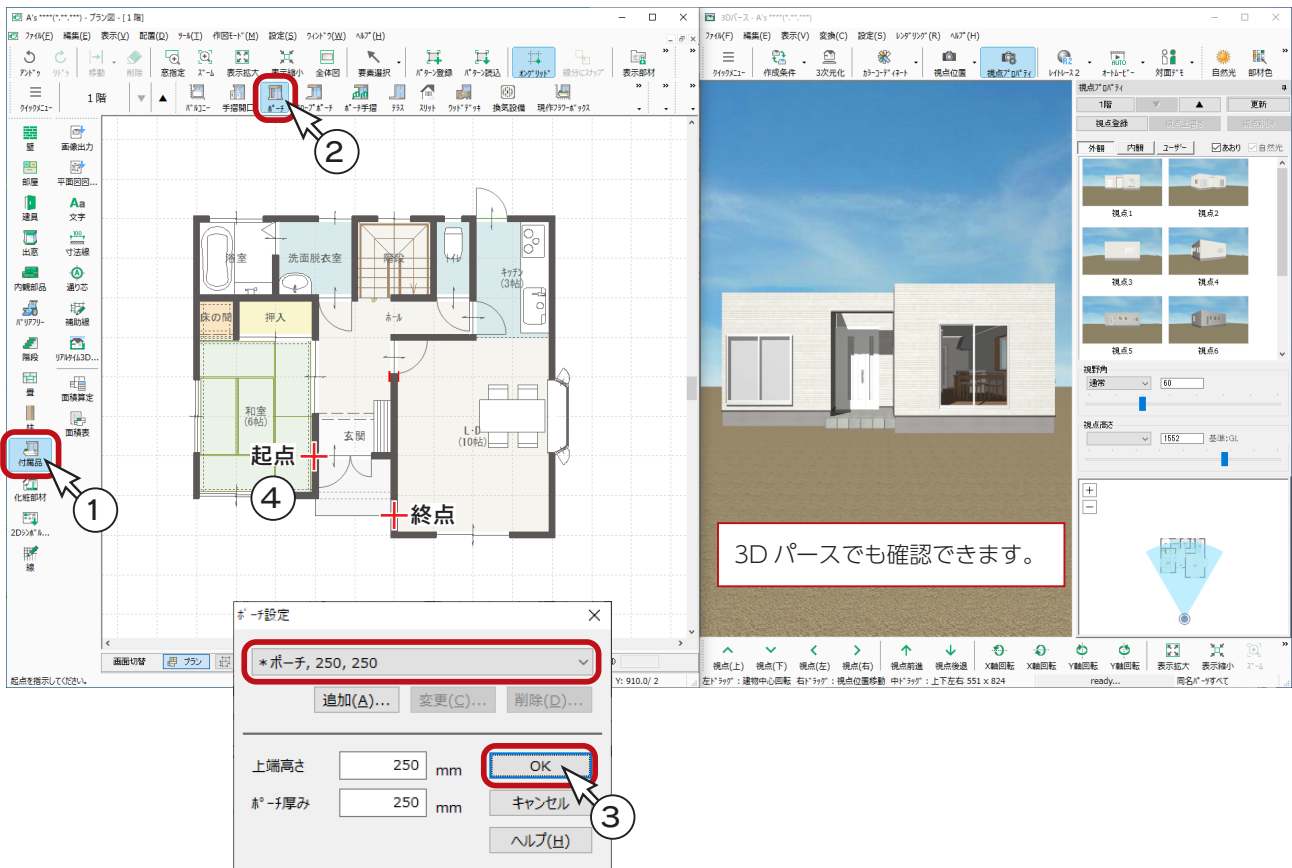


(付属品)では、ポーチ、テラス、バルコニー、ウッドデッキなど、3D パースにも関連した部品を配置することができます。

### ポーチ

ポーチを入力してみましょう。


- ①  (付属品) をクリック
- ②  (ポーチ) をクリック
  - \* ポーチ設定が表示されます。
- ③ 「\* ポーチ, 250,250」を選択した状態で、「OK」をクリック
- ④ 図のように、起点—終点を指示



#### ポーチ・テラスのサイズパターン

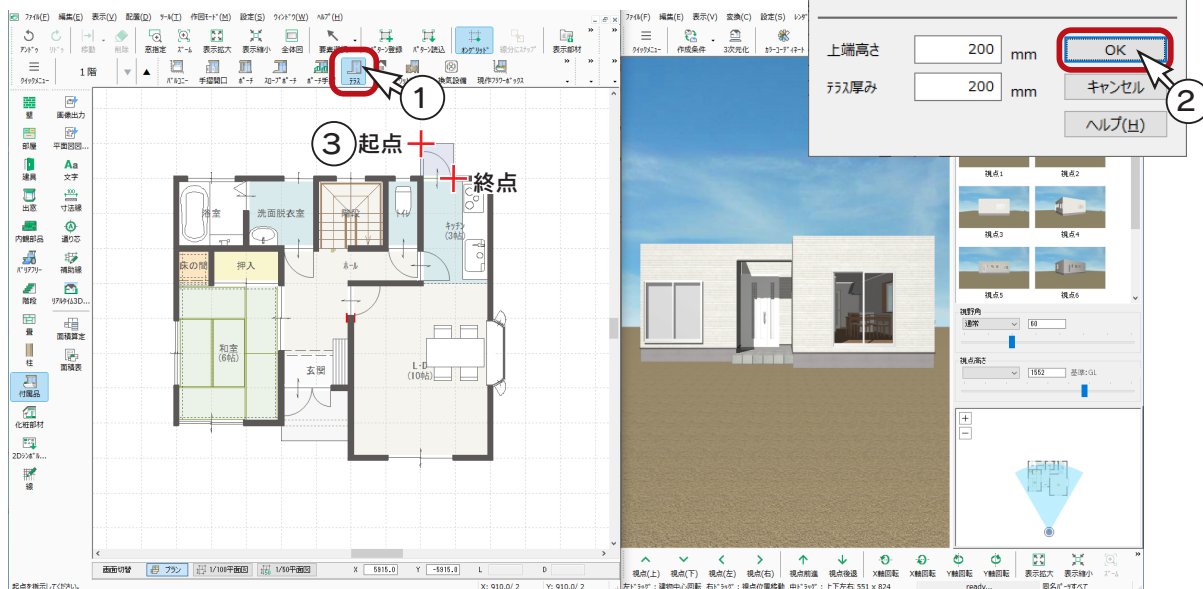
ポーチ・テラスは、あらかじめ登録されているサイズパターン (\* 付き) から選択して配置することができます。  
任意のサイズパターンの登録も可能です。

## テラス


- ①  (テラス) をクリック

\*テラス設定が表示されます。

- ② 「\*テラス,200,200」を選択した状態で、「OK」をクリック  
③勝手口に、起点—終点を指示

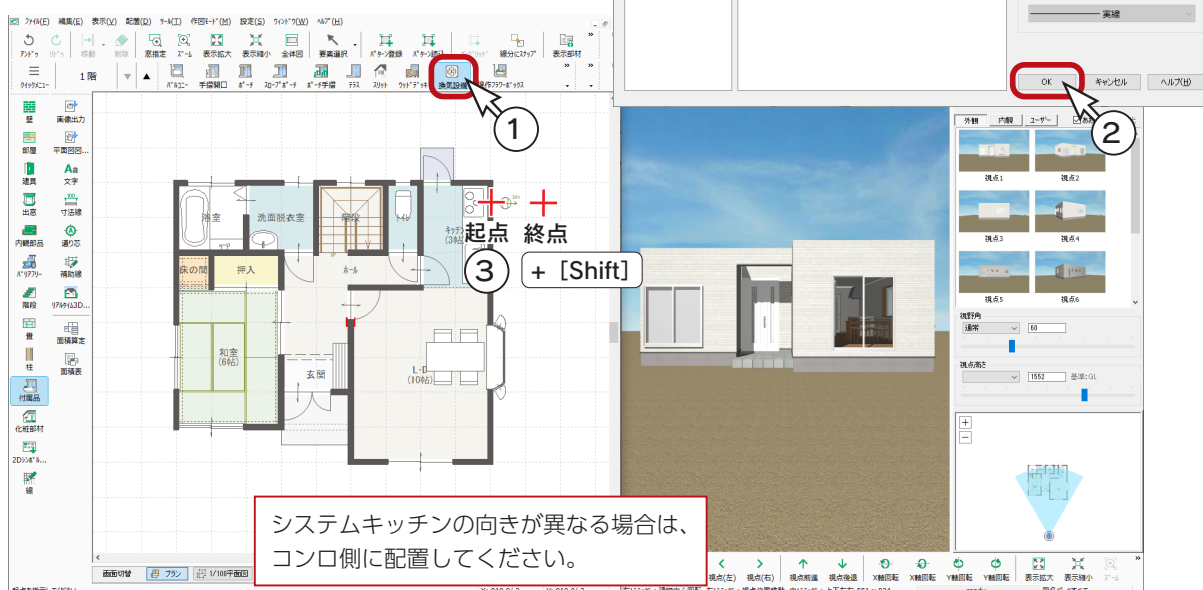


## 換気扇

- ①  (換気設備) をクリック

\*ダイアログが表示されます。


- ② 「24h換気扇 100φ」を選択し、「OK」をクリック  
③図のように、起点—終点を指示  
\*水平に配置するには、[Shift] キーを押しながら  
終点を指示します。



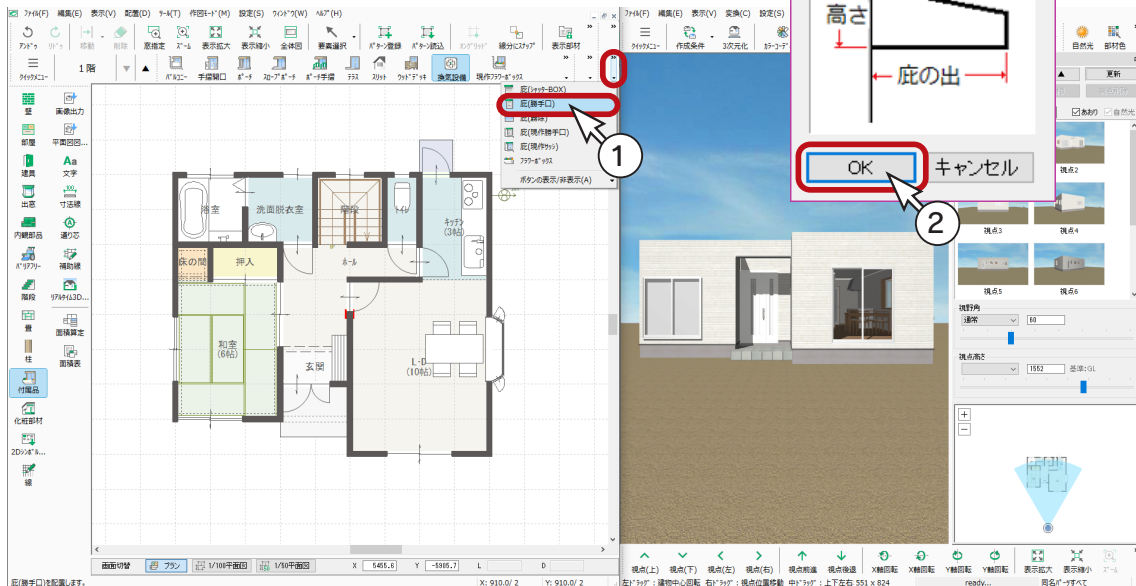


底

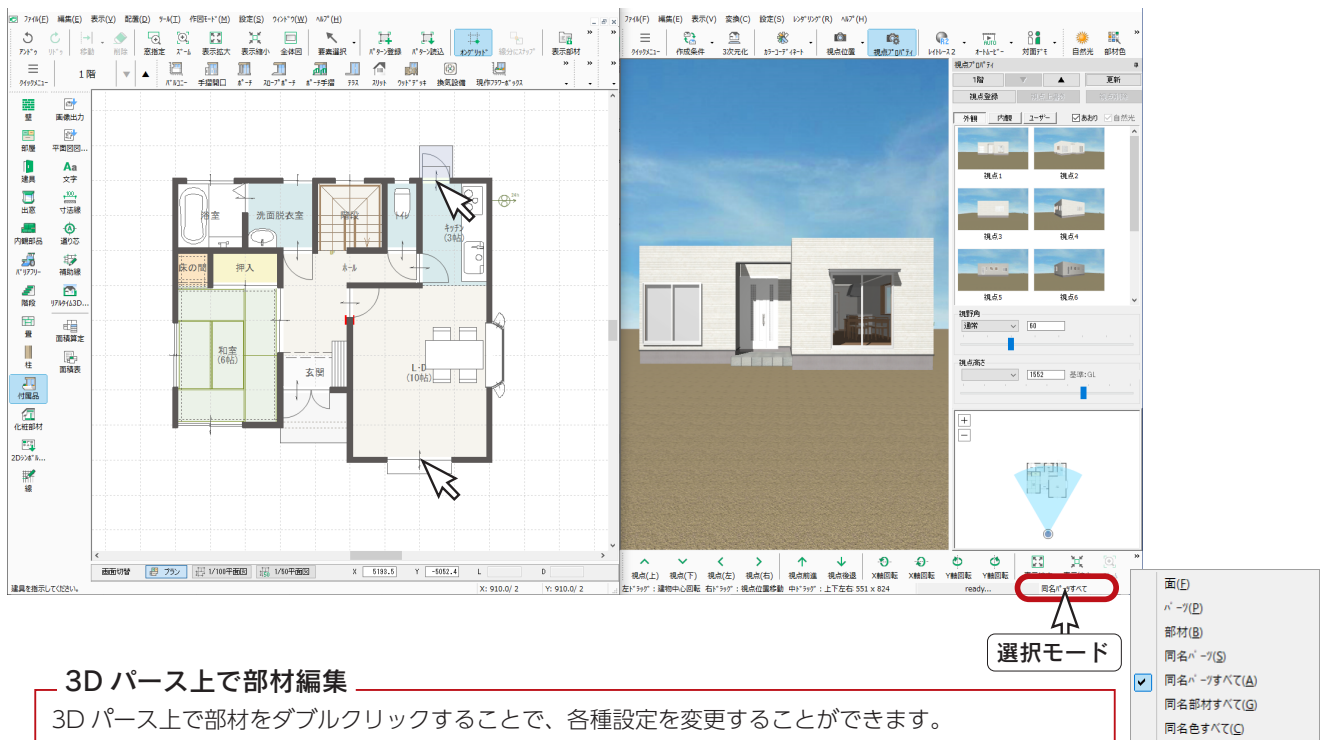
①  (底(勝手口)) をクリック

- \* アイコンが表示されていない場合は、 をクリックし、プルダウンメニューから選択してください。
- \* ダイアログが表示されます。

② 高さ、底の出を確認し、「OK」をクリック



③ 図の2つの建具をクリック




# 寸法線

寸法線を入力してみましょう。

- ① ツールバーの  (寸法線) をクリック

\* ショートカットキーは [D] です。  
(日本語入力 OFF で有効)

- ②  (自動寸法線) をクリック

\* 自動寸法設定のダイアログが表示されます。

- ③ 初期設定の状態で、「OK」をクリック

\* 寸法線が自動入力されます。



自動寸法設定

端点形状 黒丸

建物寸法

部屋毎  
 建物出入隅  
 トール  
詳細設定

建物外部

建物外部(全階層)を基準とする  
 建物外部(当階のみ)を基準とする

バルコニー・ポーチ等を含める

寸法表示位置

東側  
 西側  
 南側  
 北側

A: 寸法文字の浮き 0 mm  
B: 足の長さ 455 mm  
C: 寸法離れ 910 mm

独立寸法

バルコニー・外部廊下  
 ウッドデッキ  
 ポーチ・テラス  
 現場作成出窓  
 トール寸法を表示

A: 寸法文字の浮き 0 mm  
B: 足の長さ 455 mm  
C: 寸法離れ 455 mm

開口寸法

座標取得位置  サツ幅  内法

寸法線表示位置  内部建具との距離 455 mm  
 外部建具との距離 910 mm


※ 「寸法文字の浮き」、「足の長さ」は、独立寸法の設定を利用します。

OK キャンセル ヘルプ(H)

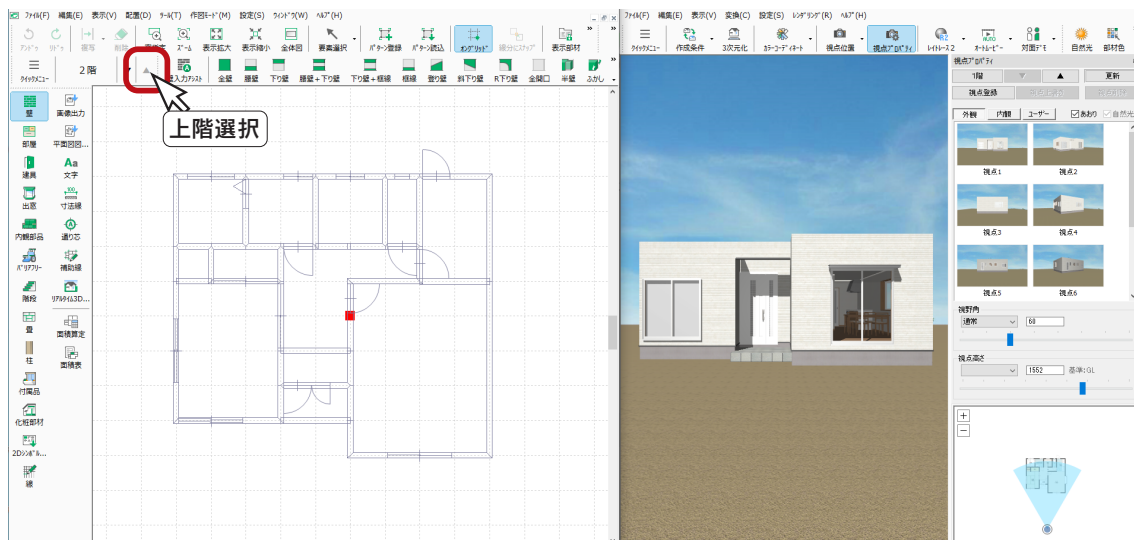
## 2階プラン

### 階層変更




1階間取り図が完成したら、次に2階間取り図を作成してみましょう。

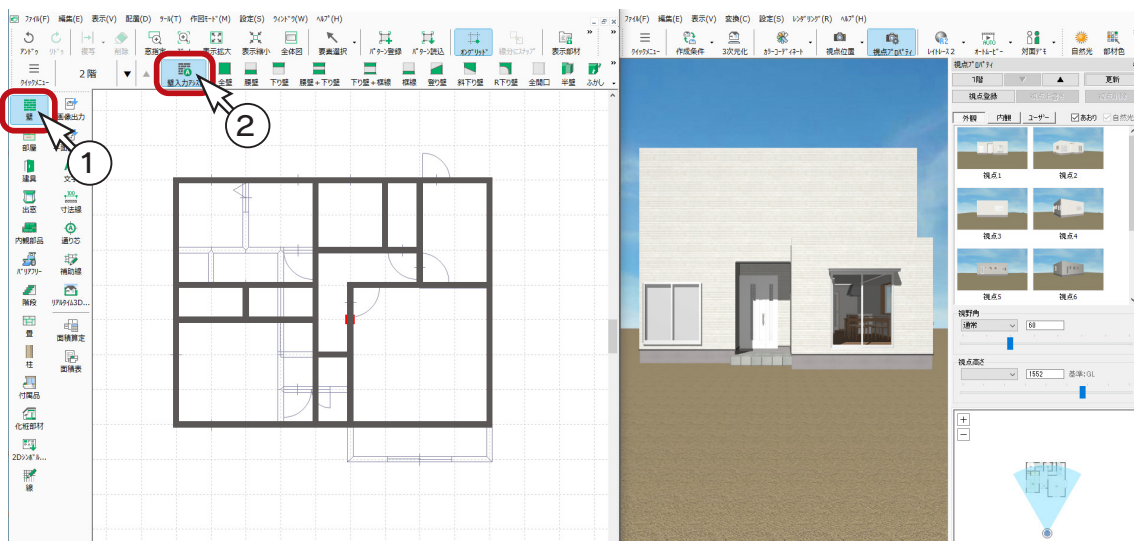
階層ボタンの  (上階選択) をクリックしてください。ショートカットキーは [ + ] です。(日本語入力 OFF で有効)

2階プランのウィンドウが開き、1階プランが下図に表示されます。





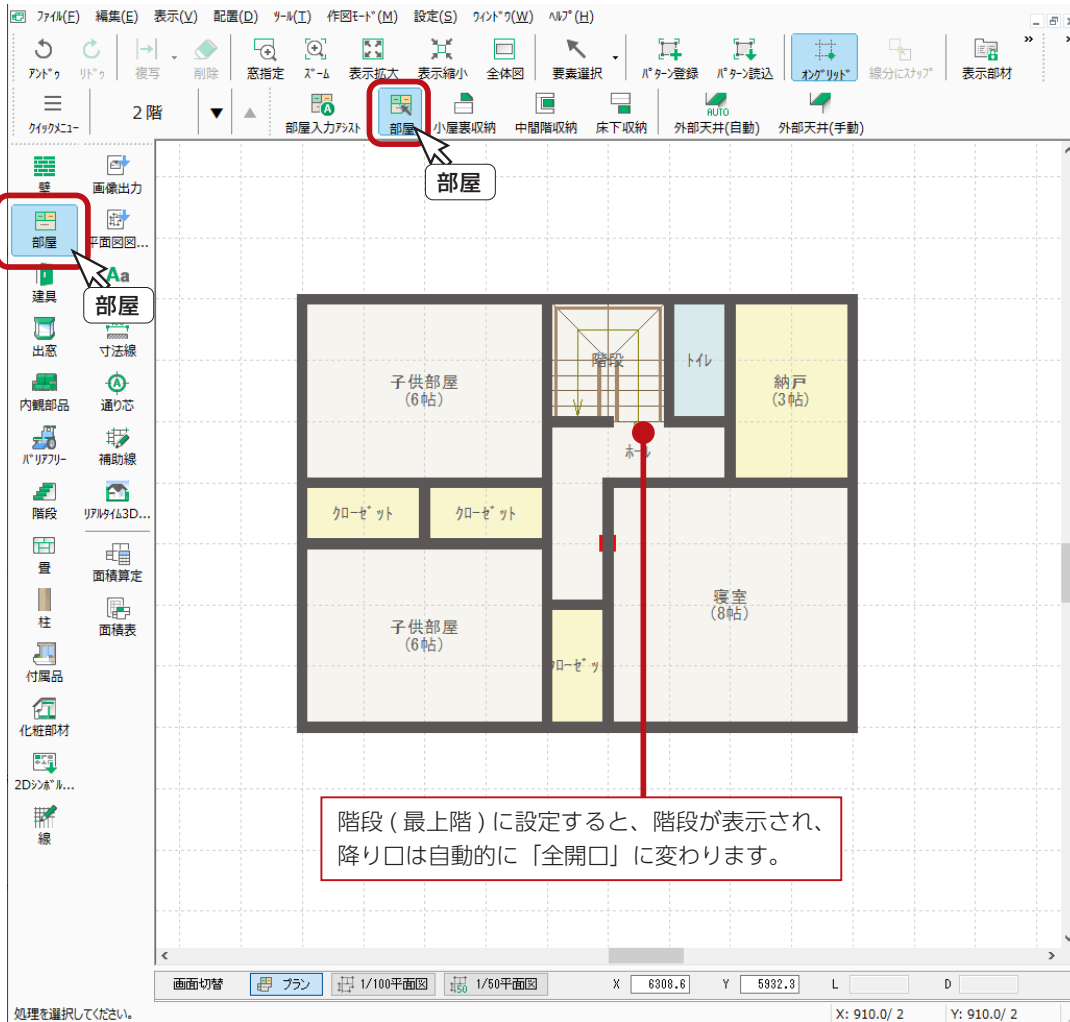
### 壁

- ① ツールバーの  (壁) をクリック  
\* ショートカットキーは [ W ] です。(日本語入力 OFF で有効)
- ②  (壁入力アシスト) にて、【全壁】を  (矩形配置) で入力  
\* 下図に重ねるように入れます。





## 部屋

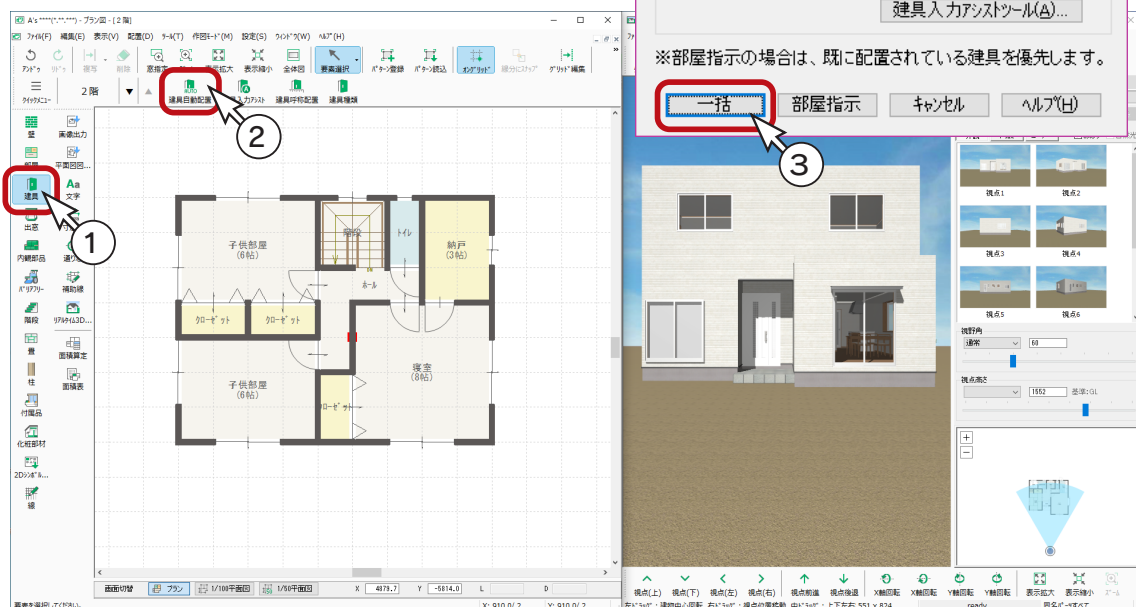
 (部屋) ⇒  (部屋) にて、部屋の中をクリックするとダイアログが表示されますので、目的の部屋名を選択して設定します。タブを切り替えて、下図のように設定します。



【主区画】……………「ホール」、「寝室」、「子供部屋」 2ヶ所  
 【水まわり】……………「トイレ」  
 【収納】……………「納戸」、「クローゼット」 3ヶ所  
 【その他】……………「階段 (最上階)」


## 建具

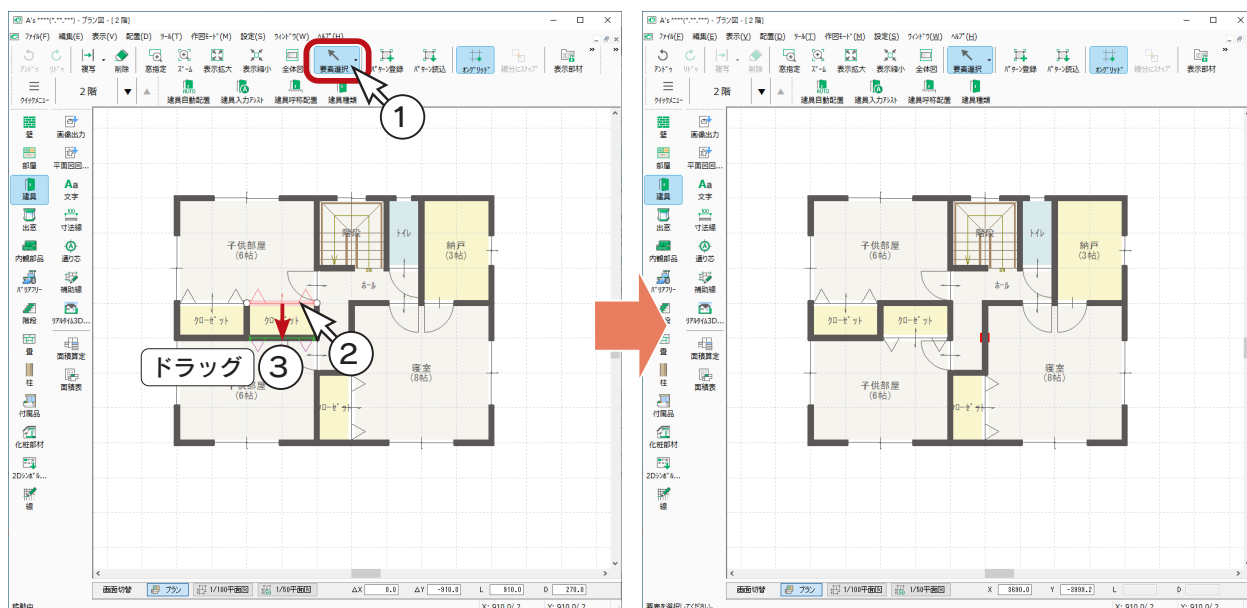
- ① ツールバーの  (建具) をクリック
- ②  (建具自動配置) をクリック
- ③ ダイアログが表示されるので、「一括」をクリック  
\* 建具自動配置が実行されます。



## ■ 建具の移動

クローゼットの扉を移動します。

- ①  (要素選択) をクリック
- ② 移動する建具 (ここでは、クローゼットの扉) をクリック
- ③ 建具の端点以外をドラッグして移動



## 内観部品

2階は、トイレの部品だけ自動配置してみましょう。

①  (内観部品) をクリック

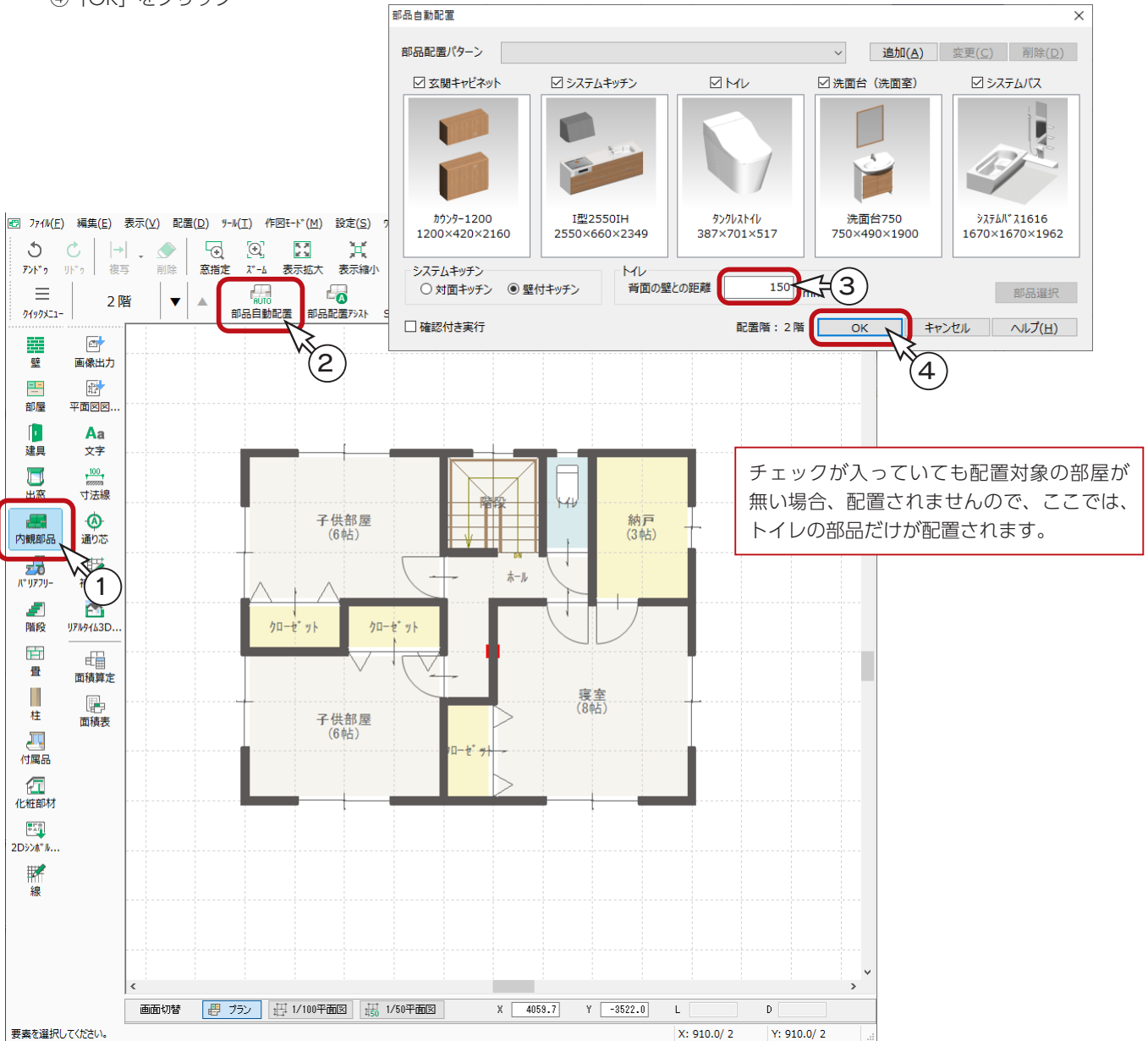
②  (部品自動配置) をクリック

\* 部品自動配置のダイアログが表示されます。

③ トイレ背面の壁との距離が 150 mmであることを確認

\* 1階の入力時の数値がそのまま表示されます。

④ 「OK」 をクリック



部品自動配置

部品配置パターン

追加(A) 変更(C) 削除(D)

玄関キャビネット  システムキッチン  トイレ  洗面台 (洗面室)  システムバス

カウンター-1200  
1200×420×2160

I型2550IH  
2550×660×2349

タケルトイレ  
387×701×517

洗面台750  
750×490×1900

システムバス1616  
1670×1670×1962

システムキッチン  
 対面キッチン  壁付キッチン

トイレ  
背面の壁との距離

部品選択

確認付き実行

配置階: 2階

OK キャンセル ヘルプ(H)

内観部品

部品自動配置

子供部屋 (6帖)

子供部屋 (6帖)

子供部屋 (6帖)

寝室 (8帖)

納戸 (3帖)

階段

ホール

クローゼット

クローゼット



クローゼット

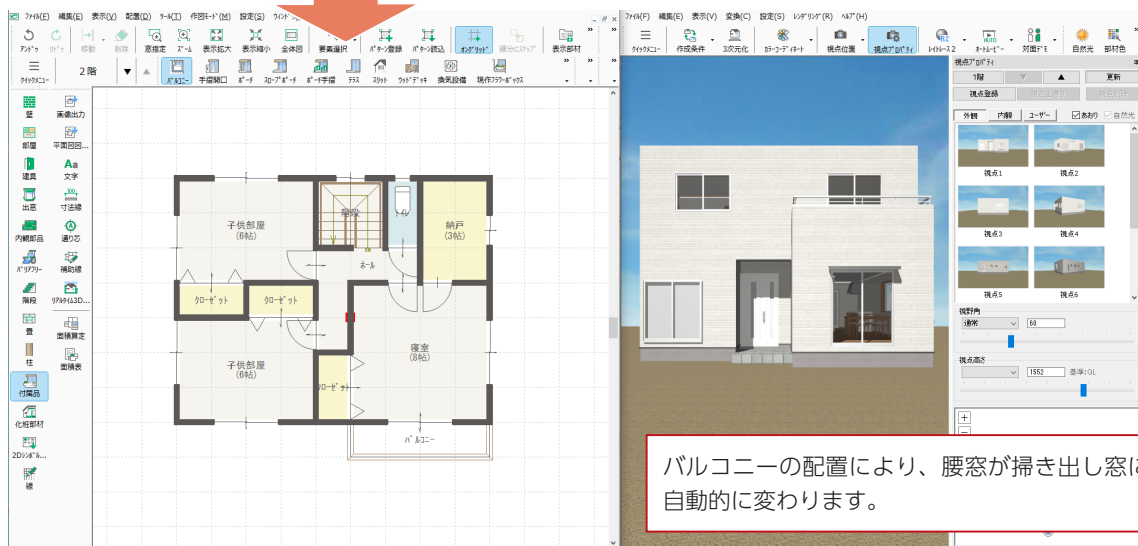
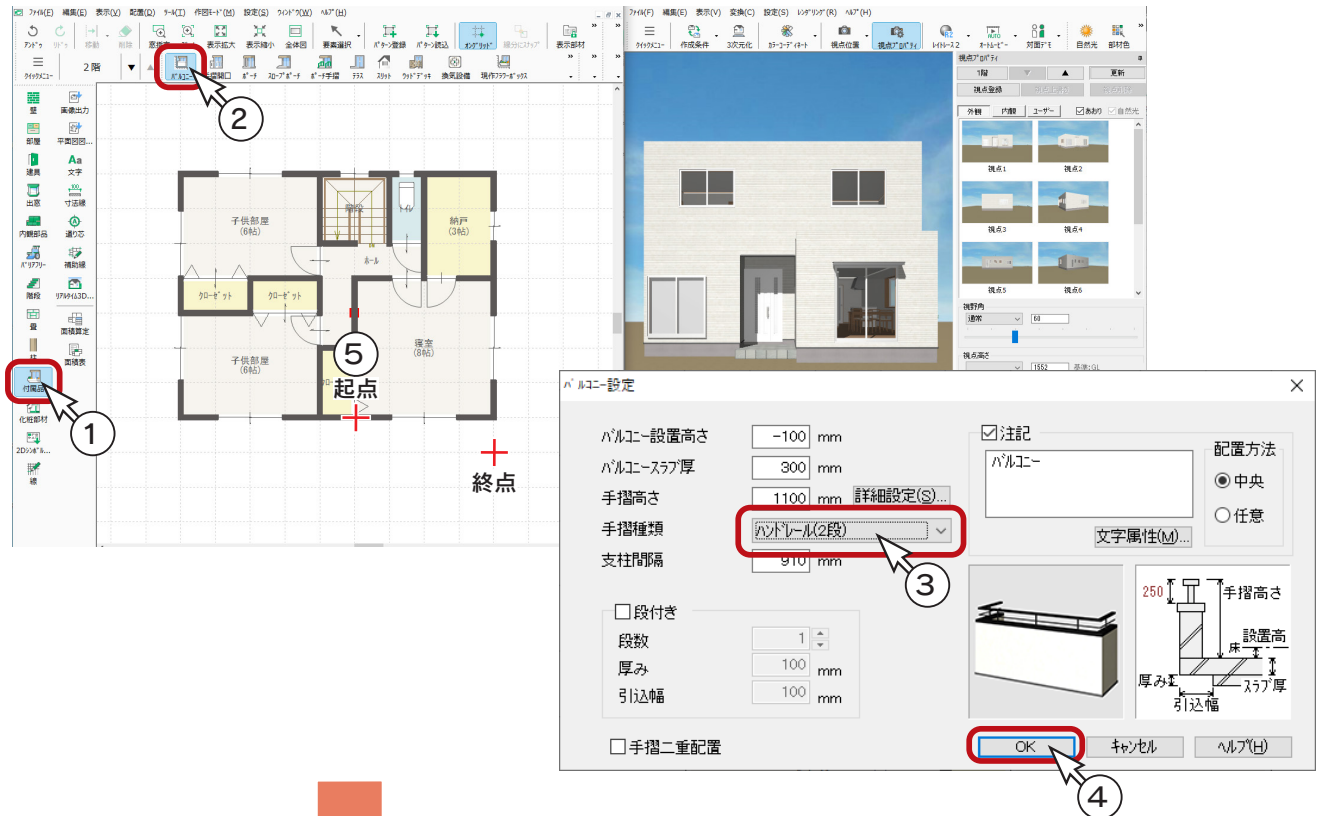
チェッカーが入っていても配置対象の部屋が無い場合、配置されませんので、ここでは、トイレの部品だけが配置されます。

画面切替 プラン 1/100平面図 1/50平面図 X: 4059.7 Y: -3522.0 L: D: X: 910.0/2 Y: 910.0/2

## バルコニー

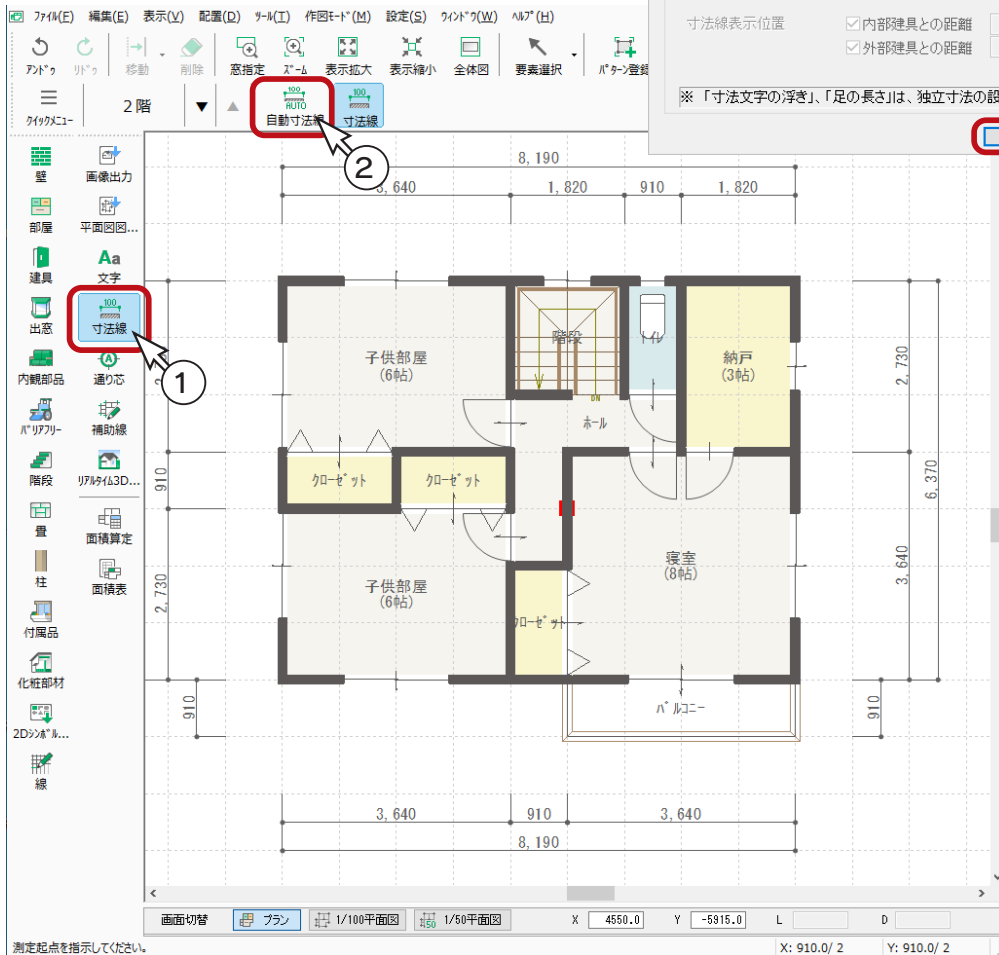
バルコニーを配置しましょう。

- ① ツールバーの  (付属品) をクリック
- ②  (バルコニー) をクリック  
\* ダイアログが表示されます。
- ③ 手摺種類を「ハンドレール(2段)」に設定
- ④ 「OK」をクリック
- ⑤ 図のように、起点-終点を指示



## 寸法線



- ① ツールバー (寸法線) をクリック
- ② (自動寸法線) をクリック
  - \* 自動寸法設定のダイアログが表示されます。
- ③ 「建物外郭(当階のみ)を基準とする」に設定
  - \* 下屋部分を考慮しない設定にします。
- ④ 「OK」をクリック
  - \* 寸法線が自動入力されます。



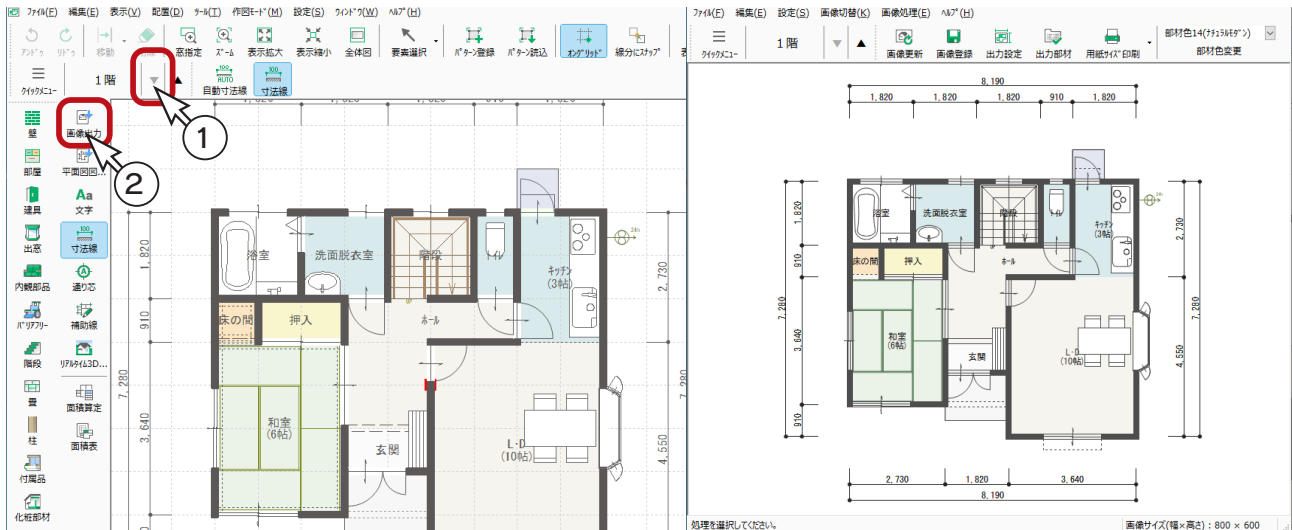


# 画像出力

## 1階の画像出力

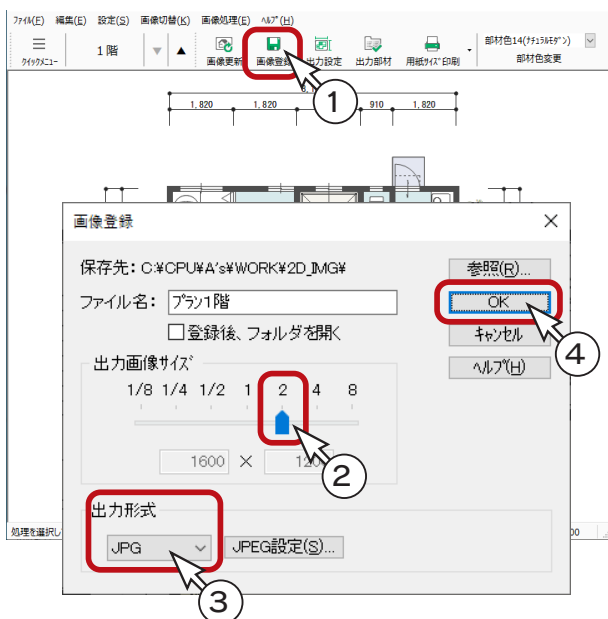
- ①  (下階選択) をクリックし、1階のプラン図を表示
- ② ツールバーの  (画像出力) をクリック

\* 処理後、別ウィンドウに平面図のカラー画像が表示されます。



## 画像登録

「画像出力」の画面に表示している画像を、名前を付けて保存することができます。



- ①  (画像登録) をクリック

\* ダイアログが表示されます。

- ② 出力画像サイズが「2」であることを確認
- ③ 出力形式が「JPG」であることを確認
  - \* 「JPG」は、ファイルサイズが小さく、データの受け渡しに適しています。
- ④ 「OK」をクリック

出力画像サイズを1倍以外に設定すると、指定したサイズで画像の再作成処理が行われるため、1倍で保存した場合と比較すると保存に時間を要します。

「登録後、フォルダを開く」にチェックを入れると、保存先のフォルダを素早く開くことができます。


表示している画像は、「編集」⇒「コピー」を選択、または [Ctrl] + C でコピーできます。  
[Ctrl] + V で、ワード・エクセル・パワーポイントなどに貼り付けが可能です。

## 2階の画像出力

1階の平面図(画像)を作成したら、次に2階の平面図(画像)を作成してみましょう。

- ①「画像出力」画面の  (上階選択) をクリック

\* 2階プランの平面図のカラー画像が表示されます。

- ②  (画像登録) をクリック

\* ダイアログが表示されます。

- ③ 出力画像サイズが「2」、出力形式が「JPG」であることを確認し、「OK」をクリック



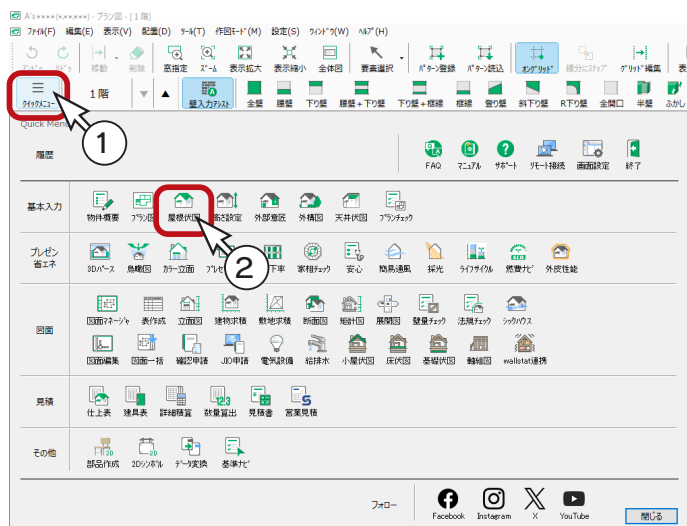
### 各階画像出力サイズの統一について



(出力設定) の「各階の出力位置・縮尺を合わせる」にチェックが入っていると、各階の画像出力の建物位置と縮尺を一致させることができます。

# 3 屋根伏図

## 屋根伏図の起動



① クイックメニューをクリック

② (屋根伏図) をクリック

\* メインメニューから起動することもできます。  
\* 1階屋根伏図のウィンドウが表示されます。

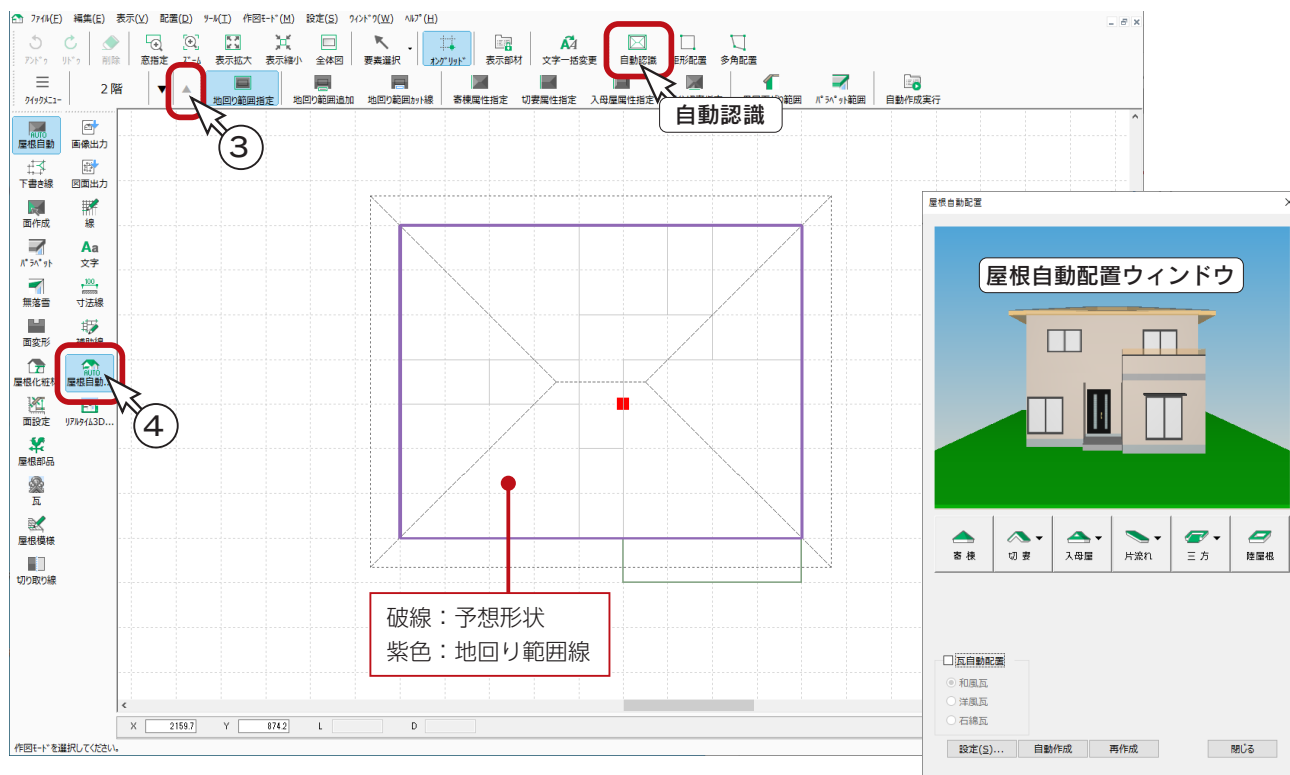
③ この物件では、1階に屋根はありませんので、

階層ボタンの (上階選択) をクリック

\* 2階屋根伏図のウィンドウが開き、屋根の予想形状も表示されます。

④ (屋根自動配置) をクリック

\* ここでは、屋根自動配置を利用して、2階の屋根を入力してみましょう。








予想形状が表示されない場合は、 (自動認識) をクリックしてください。

# 屋根自動配置

## ウィンドウの操作

屋根自動配置ウィンドウでは、マウス操作により、建物の回転や移動ができます。下の表を参考に、屋根形状がわかるように、表示を変えてみてください。

マウス操作	動作	ポインタ	マウス操作	動作	ポインタ
左ドラッグ	建物中心回転		Shift + 左ドラッグ	視点中心回転	
右ドラッグ	建物回転 視点位置移動		Shift + 右ドラッグ	視点位置移動	
中ドラッグ	上下左右移動				

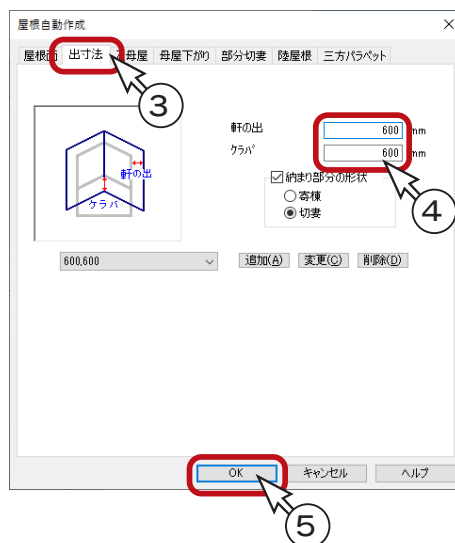
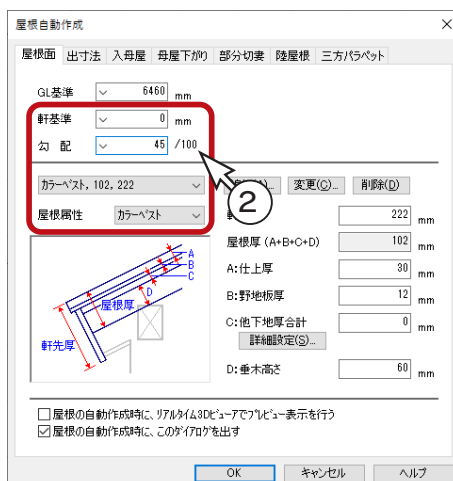
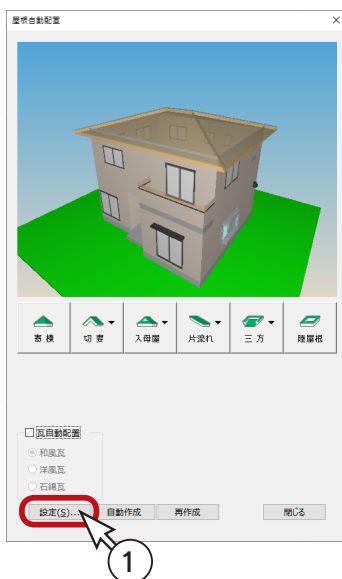


## 屋根面、出寸法の設定

- ①屋根自動配置ウィンドウの「設定」をクリック  
\*ダイアログが表示されます。
- ②軒基準「0」、勾配「45」、屋根属性「カラーベスト」に設定
- ③「出寸法」をクリック
- ④軒の出、ケラバともに「600」に設定
- ⑤「OK」をクリック

### 最後の設定を引き継ぐ

屋根の基準高さ、勾配などは、最後の設定を引き継ぎます。



## 切妻指定

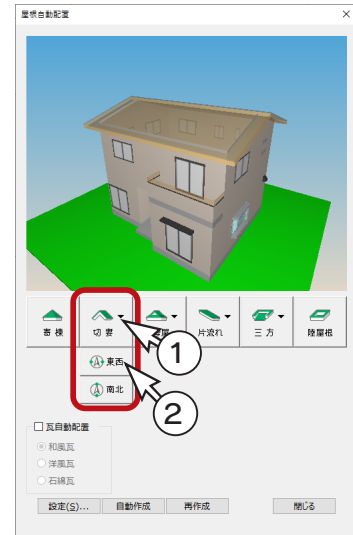
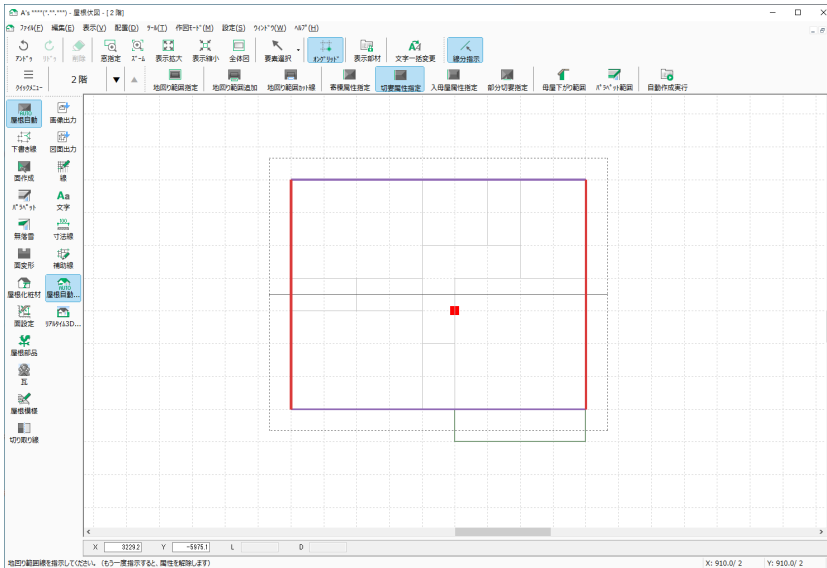
屋根形状を切妻に変更してみましょう。

①屋根自動配置ウィンドウの「切妻」にマウスを合わせる

②「東西」をクリック

\* 予想形状が切妻に変わります。

\* 切妻属性となる妻壁側の地回り範囲線は、赤色に変わります。



## 自動作成

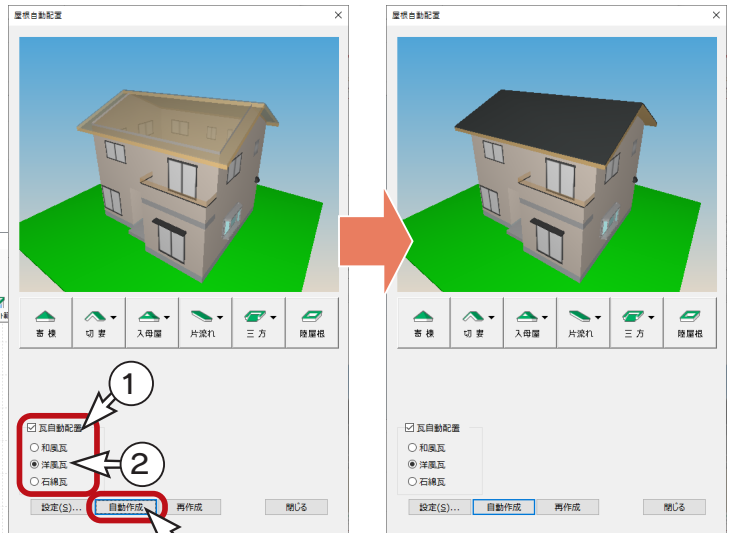
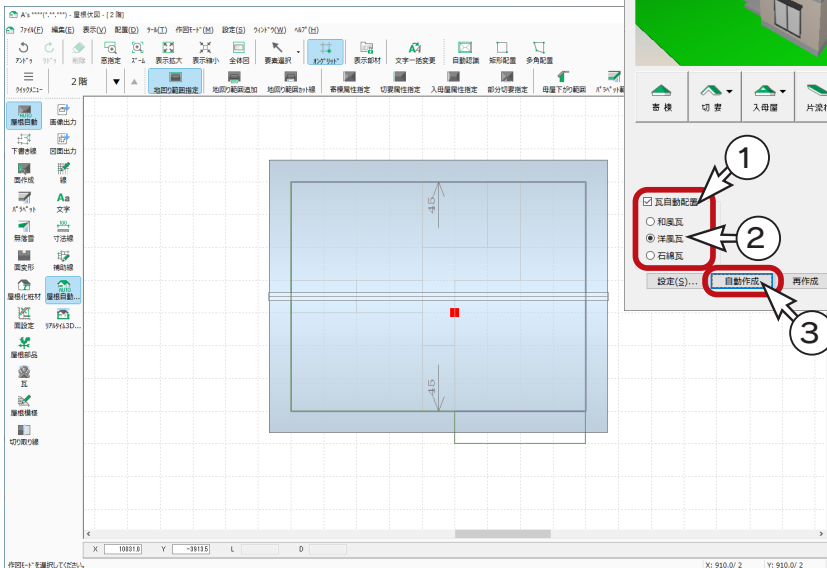
①「瓦自動配置」にチェックを入れる

②「洋風瓦」を選択

③「自動作成」をクリック

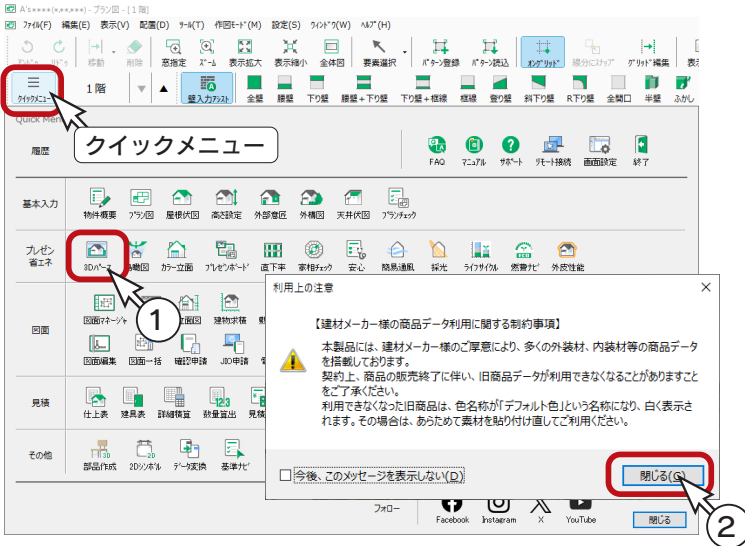
\* 屋根伏図ウィンドウの屋根面に色が付き、  
勾配と流れ方向が表示されます。

\* 屋根自動配置の屋根表示も変わります。



# 4 3D パース

## 3D パースの起動



①クイックメニュー、またはメインメニューの



(3D パース) をクリック

②利用上の注意が表示された場合は、内容を確認の上、「閉じる」をクリック

- \* 「今後、このメッセージを表示しない」のチェックが可能です。
- \* 3D パースの画面が表示されます。

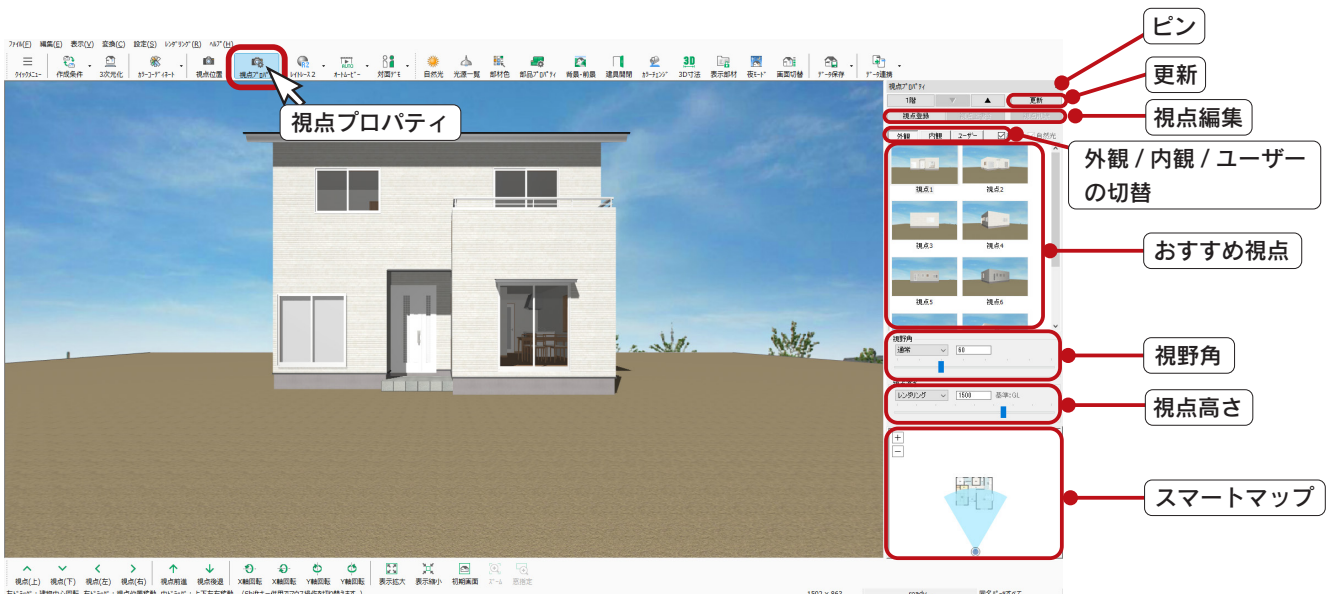
3D パースを既に起動中の場合は、再起動の必要はありません。  
以下の画面は、画面を最大化しています。

## 視点プロパティ

視点プロパティを表示すると、外観、内観のおすすめ視点に素早く移動したり、スマートマップ（簡易平面）で視点位置や方向を設定することができます。また、視点情報の登録、読込、削除も簡単にできます。






(視点プロパティ) で表示/非表示を切り替えます。



おすすめ視点は、「更新」をクリックすると、現在の配置部材が反映されます。

# オート外構

オート外構を実行してみましょう。

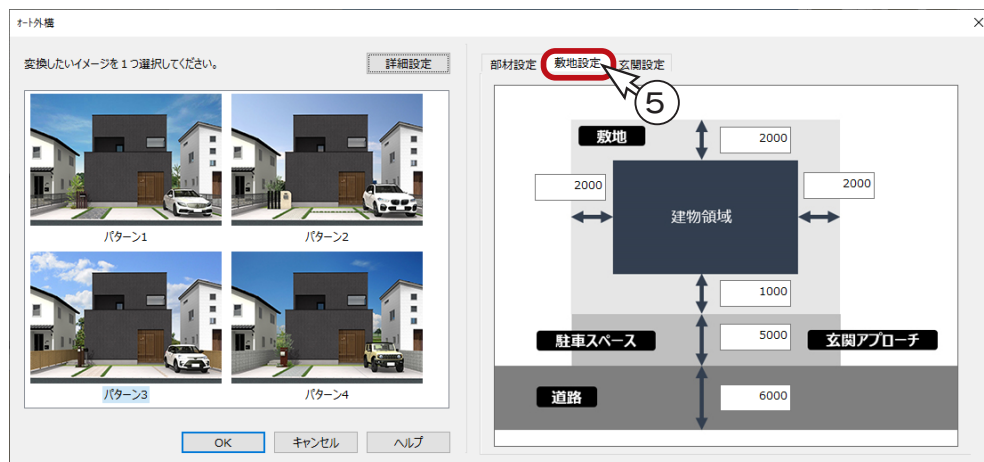
- ①  (作成条件) の  をクリックして、 (オート外構) を選択
  - \*メニューバーの「変換」から「オート外構」を選択してもかまいません。
  - \*パターン選択の画面が表示されます。
- ②例えば「パターン3」を選択
- ③「詳細設定」をクリック
  - \*ダイアログが横に広がり、詳細設定項目が表示されます。
- ④部材設定を確認、変更

## 外構図でオート外構

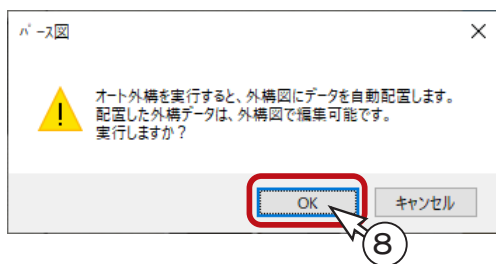
外構図でも、オート外構を実行できます。  
外構図では、「追加配置」も可能です。



- ⑤敷地設定を確認、変更



- ⑥ 玄関設定を確認、変更
- ⑦ 「OK」をクリック
  - \* オート外構実行に関するメッセージが表示されます。
- ⑧ 「OK」をクリック



### 敷地・玄関アプローチ自動判定

入り組んだ玄関の場合は、このチェックを OFF にして、玄関位置を手動で指定することをお勧めします。

すでに外構図で外構データを配置している場合は、全ての外構データを初期化してオート外構を配置する旨のメッセージが表示されます。内容を確認の上「OK」「キャンセル」を選択してください。

OK…………… 既存の外構データを削除して、オート外構を配置します。

キャンセル… 既存の外構データを残します。


オート外構の配置をキャンセルします。

\* 敷地と外構が配置されます。
















## リアルシェーディング

初期表示は、 (リアルシェーディング (高)) です。「テクスチャ」「樹木・人物」「背景」「グラデーション」も表示した状態で、リアルタイムにスムーズなウォークスルーが可能です。

操作方法はステータスバーに表示されていますが、表も参考に自由にウォークスルーしてください。

ご使用の環境により、動きがスムーズでない場合は、「画面切替」で画面表示のクオリティを切り替えてご利用ください。



マウス操作	外観		内観	
左ドラッグ	建物中心回転		視点中心回転	
右ドラッグ	建物回転 視点位置移動		視点位置移動	
中ドラッグ	上下左右移動		上下左右移動	
Shift + 左ドラッグ	視点中心回転		建物中心回転	
Shift + 右ドラッグ	視点位置移動		建物回転 視点位置移動	

## 視点設定・登録

外観パース図を作成する視点を決めます。

視点決定後は、視点登録しておくことによって、移動した場合でも素早く同じ視点に戻すことができます。

視点プロパティを表示している場合は、「視点登録」をクリックするだけで、視点情報を登録することができます。


登録した視点は「ユーザー」タブに表示されます。



視点情報には、現在表示している視点位置の他に、背景・前景と自然光設定も含まれます。また、画面表示の状態（「リアルシェーディング」「シェーディング」など）も含まれます。

# ファイナルギャザー

ファイナルギャザーのレンダリングを実行してみましょう。

- ①レンダリングモードの▼をクリックして、 (ファイナルギャザー) を選択
  - \*メニューバーの「レンダリング」から「ファイナルギャザー」を選択してもかまいません。
  - \*ダイアログが表示されます。
- ②サイズは「A4」、品質は「高品質」に設定
  - \*「詳細設定」をクリックすると、ダイアログが下に広がり、明るさなどを設定できます。
  - 外観と内観で、「詳細設定」の設定項目は異なります。
- ③「レンダリング」をクリック
- ④メッセージが表示されますので、内容をご確認の上、「実行」をクリック
  - \*レンダリングが別ウィンドウで実行されます。



レンダリング中は、進捗状況を示すプログレスバーが表示されます。プログレスバーが 100% になるとレンダリング完了です。レンダリングは、お使いのパソコンによって所要時間が異なります。レンダリング中に「キャンセル」をクリックすると、処理を途中で終了します。[Esc] キーを押す、または右クリックしても同様です。

## レンダリング画像の登録

レンダリング実行後の画面にて、レンダリング画像を登録することができます。



- ① 「保存」をクリック
  - \* 「ファイル」⇒「画像登録」を選択してもかまいません。
  - \* ダイアログが表示されます。
- ② 出力形式が「JPG」であることを確認
  - \* 「JPG」は、ファイルサイズが小さく、データの受け渡しに適しています。
  - \* その他も、初期の状態を使用します。
- ③ 「OK」をクリック

「登録後、フォルダを開く」にチェックを入れると、「OK」をクリックした後に、保存先に表示されているフォルダを開きます。

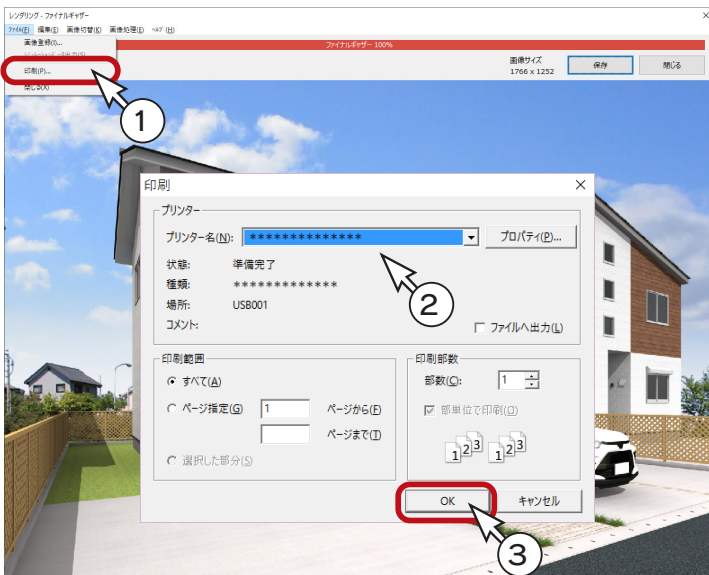
出力画像サイズを1倍以外に設定すると、指定したサイズで画像の再作成処理が行われるため、1倍で保存した場合と比較すると保存に時間を要します。

### 画像のコピー&ペースト

レンダリング画像は、「編集」⇒「コピー」を選択、または Ctrl+C でコピーし、Ctrl+V でワード・エクセル・パワーポイントなどに貼付が可能です。

## レンダリング画像の印刷

レンダリング実行後の画面にて、印刷することができます。



- ① 「ファイル」⇒「印刷」を選択
  - \* ダイアログが表示されます。
- ② プリンター名、印刷部数などを設定
  - \* プリンター名を設定後「プロパティ」をクリックすると、用紙サイズ、印刷方向などを設定できます。
- ③ 「OK」をクリック
  - \* 印刷が実行されます。

### 用紙に自動レイアウト

画像出力の印刷では、設定した用紙サイズの印刷可能範囲に、自動レイアウトで印刷されます。大きさの指定はできません。

## レンダリングの終了

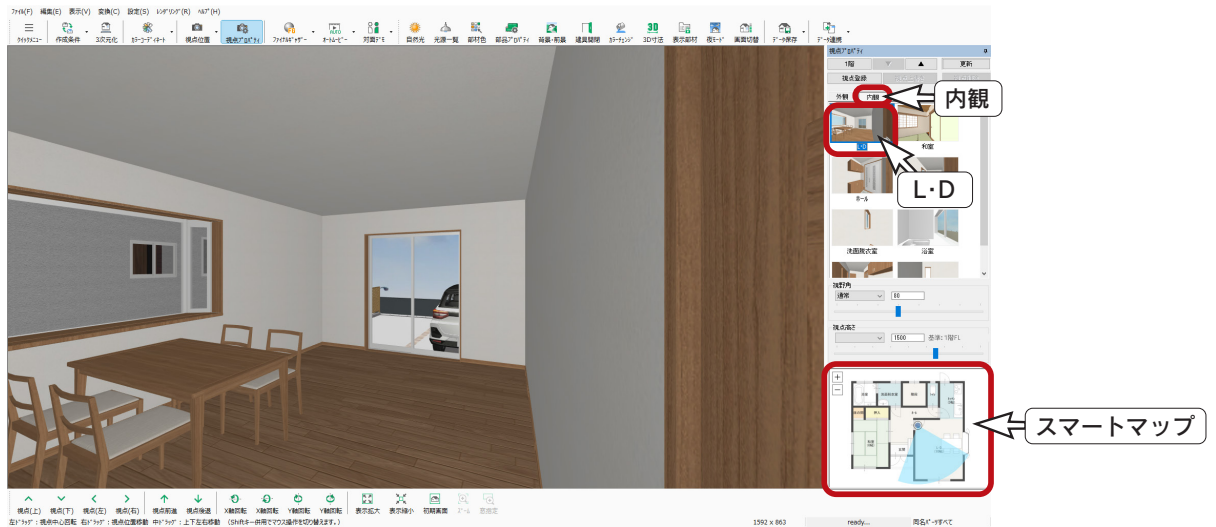
「閉じる」をクリックします。❌ (閉じる) をクリック、もしくは「ファイル」⇒「閉じる」を選択してもかまいません。

## 内観パース

内観パースを作成してみましょう。

視点プロパティで「内観」タブをクリックすると、内観のおすすめ視点が表示されます。

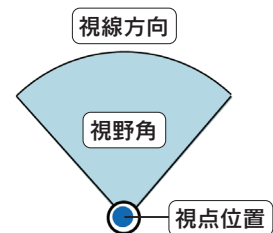
例えば、「L・D」をクリックすると、以下のような表示になります。



## 視点設定

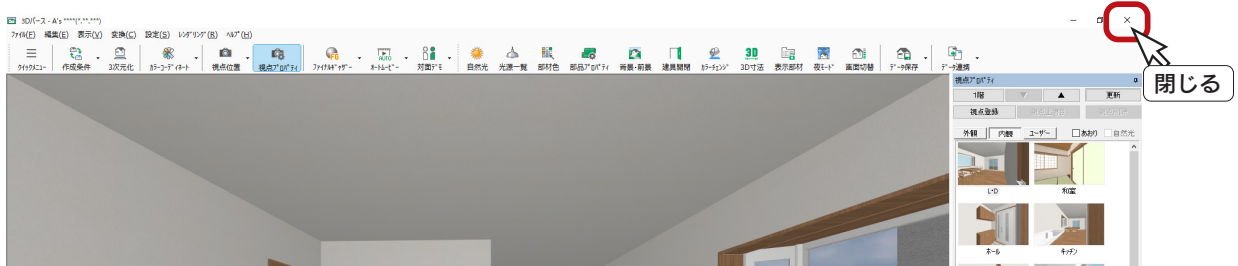
それでは、スマートマップを使用して、視点を設定してみましょう。

- ①スマートマップの視点位置にマウスを合わせて、L・Dの下側までドラッグ
- ②スマートマップの視野角にマウスを合わせて、キッチン方向を見るようにドラッグ



## アプリケーションの終了


起動しているアプリケーションのタイトルバー右端の **×** (閉じる) をクリック、もしくは「ファイル」⇒「終了」とクリックしてください。



起動しているアプリケーションは、全て同様に終了させてください。

## データの保存・終了

データを正式に保存し、終了しましょう。

- ①メインメニューの  (終了) をクリック
- ②終了の画面が表示されますので、「上書きで保存して終了」が選択されていることを確認
- ③「[物件管理]用サムネイルを作成する」にチェックが入っていることを確認
- ④「OK」をクリック
  - \* 保存処理後、物件管理の画面に戻ります。
- ⑤タイトルバー右端の **×** (閉じる) をクリック、もしくは「ファイル」⇒「終了」とクリック

A's \*\*\*\*\*(.\*) - メインメニュー - [田中 三郎(入門編)] 工法 在来

企画設計 | 意匠設計 | 実施設計 | 構造設計 | 見積・積算 | 省エネ設計 | ツール・他

プラン図 | 屋根伏図 | 高さ設定 | 外部意匠 | 外構図 | 天井伏図 | 3Dパース | カー立面 | プレゼン\* | プランチャ | 物件概要 | **終了**

①

A's \*\*\*\*\*(.\*)の終了

プラン名: 入門編

次の処理を選択して下さい。

**上書きで保存して終了** ← ②

別名で保存して終了

保存しないで終了

**[物件管理]用サムネイルを作成する** ← ③

保存設定(S)... **OK** ← ④ | キャンセル | ヘルプ(H)

A's \*\*\*\*\*(.\*) - 物件管理

ファイル | 編集 | 表示 | データベース | ツール | ヘルプ

新規作成 | 新規顧客 | 顧客編集 | 顧客検索 | 顧客印刷 | 新規プラン | プラン編集 | プラン検索 | プラン印刷 | プラント

顧客No	顧客名	顧客名カナ	最終状況	工事種類	建物用途	拠点コード	営業担当者	設計担当者	検査担当者
	田中 三郎								

サムネイル

保存先: C:\CPUWA\4\CGBK\DATA\AP\20220921\COA8010200037.cg

⑤

- 1) 本書の内容の一部、または全部を株式会社シーピーユーの書面による許可なく複製、送信すること、及び他の言語に翻訳することを禁じます。
- 2) 本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 3) 本書は予告なく変更することがあります。
- 4) 本書とプログラムの動作が異なる場合は、プログラムが優先します。尚、README に最新情報が記載されていますのでご利用ください。
- 5) 表記上の固有商品は各社の商標または登録商標です。

## A's 2024 マニュアル 入門編

---

2023年10月17日 第1版発行

発行所 株式会社シーピーユー  
〒921-8043 金沢市西泉4-60  
[大代表] TEL (076) 241-0001  
FAX (076) 241-0002

---